

被災地に暮らす海外出身者のあの日、あのとき

直筆記録 3.11

～風化させてはいけない記憶が ここにもあります～



公益財団法人

宮城県国際化協会

MIYAGI INTERNATIONAL ASSOCIATION

Contents

■はじめに

■外国人登録者数と津波被災マップ

■「外国人の立場から東日本大震災をふり返る会」総括レポート

- 仙台エリア編／2011年5月17日(火) @宮城県仙台合同庁舎会議室
- 仙南エリア編／2011年6月6日(月) @サッポロビール仙台工場会議室
- 気仙沼エリア編／2011年6月9日(木) @気仙沼駅前コミュニティセンター
- 南三陸・登米編／2011年6月14日(火) @ホテルニューグランヴィア
- みやぎ外国籍県民大学OG編／2011年6月17日(金) @エル・パーク仙台
- 石巻エリア編／2011年6月23日(木) @こ～ぷのお家いしのまき 地域交流サロン

■総括専門家会議記録／2011年8月22日(月) @宮城県国際交流協会研修室

■おわりに

※当協会は、平成24年4月1日付けで公益財団法人へ移行したのに伴い、名称も「公益財団法人宮城県国際化協会」へ改称しました。本記録においては、震災当時の名称となっておりますので、ご了承ください。

～ は じ め に ～

未曾有の大災害となった東日本大震災の直後
緊急支援車両で被災地支援をしていた私たちは

自分が経験した
「あの日、あのとき」のことを
語りたがっている被災された方が
とても多いことに気づかされました

それは
国籍に関係なく外国人被災者の方々にも見受けられ
私たちは被災から三か月ほど経ったころ
この地に暮らす海外出身者のみなさんの思いを
母語で語り合う場を創ったのでした

仙台・名取・気仙沼・登米(南三陸)・石巻
県内6会場に
24か国(地域) 203名ものみなさんが足を運び
母語で語り
そして文字にして残してくれました

多くは 国際結婚のために日本に移住された女性たちでした

青い紙には

辛かったこと 大変だったことを

黄色い紙には

そんな過酷な状況下でも 感動したこと 嬉しかったことを
母語で自由に書いていただきました

実物は紙のまま保存してあります

しかし

時の流れと共に貴重な資料の劣化が懸念されるようになり

被災から3年目の今春

劣化を防ぐため そのままの形状でデータ保存することといたしました

データ化することによって より多くのみなさまに

直筆の記録 を

ご覧いただくことが可能になりました



東日本大震災から3年

縁あって海を越え宮城に暮らす海外出身者お一人おひとりの

直筆の記録 は

アンケートのような手法からは窺い知ることのできない
より肉声に近い《ことば》として
読む側に迫ってきます

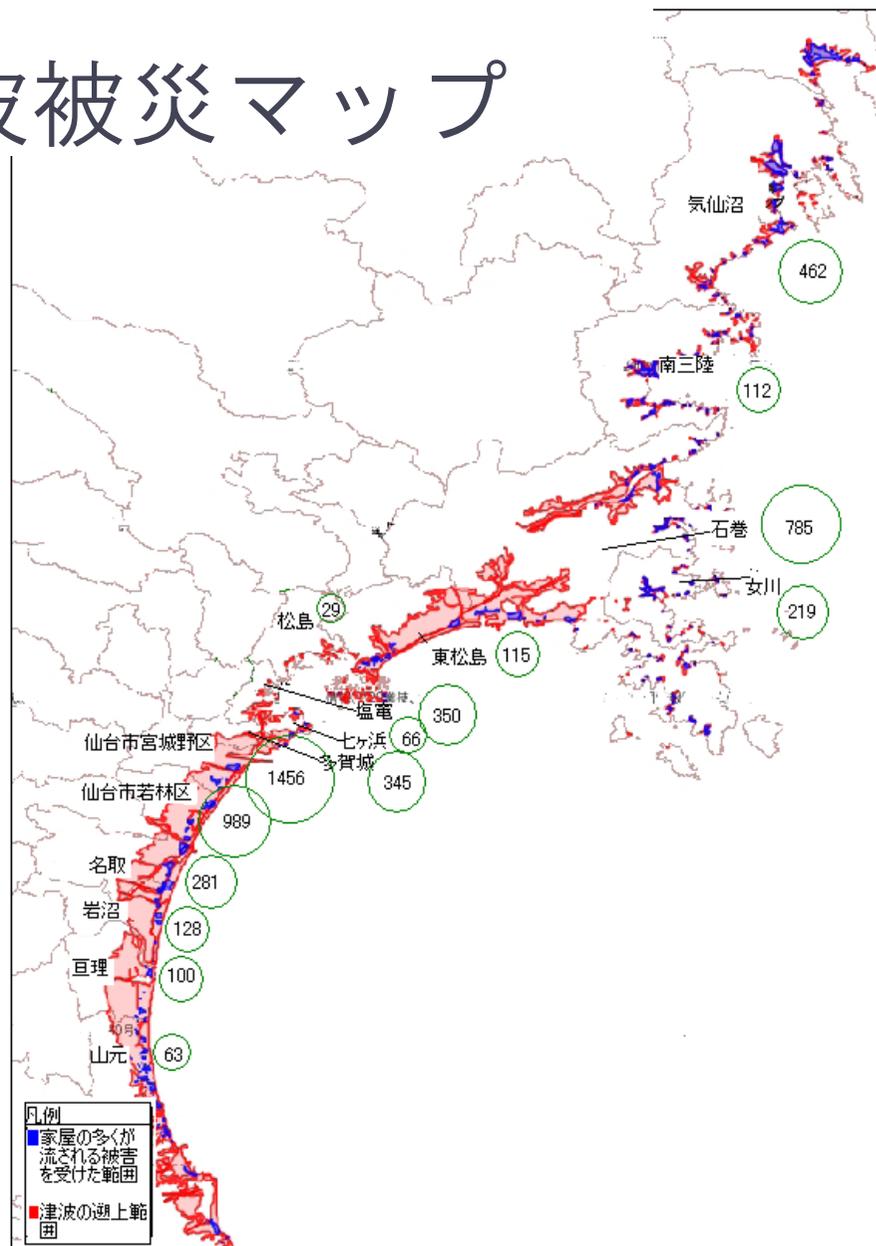
出身国の別なく

東日本大震災という共通の経験を経て被災地に暮らす私たちは
これからも心をひとつに復興に向け歩んでゆかねばならない

そんなことを改めて想起させる《ことば》の数々をご覧ください

2014年3月 ようやく春の兆しの見える頃に

3.11当時の沿岸地域 外国人登録者数と津波被災マップ



東日本大震災被災外国人支援事業

『外国人の立場から東日本大震災をふりかえる会』

総 括 レ ポ ー ト

主催 財団法人宮城県国際交流協会

1 目 的

被災地で暮らす海外出身者の中には、今回の大震災・津波に加え、それ以降も続く余震や原発問題、また慣れない避難所などでの暮らしから大きな不安を抱えたまま過ごしている方も多いと考えられる。

この事業では、参加者自身の体験や不安を分かち合う「語りの場」を創出することで心のケアを図り、実体験に基づいた互いの知恵を共有しながらこの先も起こりうる震災の備えとして役立ててもらえるものとし、また、弁護士、行政書士、県警、臨床心理士といった各分野の専門家が応援団として同行することにより被災外国人の安心・安全な生活復興支援の一助とした。

2 共通プログラム 別紙のとおり

3 協力団体・企業と役割分担

各実施地域自治体または日本語教室（参加者への広報）

宮城県警察本部通訳センター（生活安全アドバイス）

申請取次行政書士（在留資格に関するアドバイス）

弁護士（法律に関するアドバイス）

臨床心理士（心のケアに関するアドバイス）

株式会社資生堂（「お肌のケアは心のケア」プログラム担当）

NPO法人FMわいわい（災害時用多機能携帯ラジオ提供）

4 参加総数

外国人 203名（24か国・地域）

日本人 延べ146名（弁護士、行政書士、県警、臨床心理士、地域日本語教室講師） ※その他、適宜通訳者同行

共通プログラム

MIA東日本大震災被災外国人支援事業



ひがしにほんだいしんさい

かい



東日本大震災をふりかえる会 동일본 대지진을 돌아보는 모임
Remembering the Great East Japan Earthquake 東日本大震災回顧会

■ 開会のあいさつ



「災害時に活躍する多機能ラジオ」のプレゼント

■ 応援団のみなさまの紹介 ※警察、弁護士、行政書士、臨床心理士など

■ もしも、いま大地震が起きたら ※緊急地震速報を鳴らします

■ この大地震が経験してつらかったことやこまったこと、学んだこと、感動したことを母語で話し合ってみましょう



グループでおしゃべり&資生堂美容部員さんによるケア



■ ほかのグループの話もきいてみましょう

■ 閉会

齐心努力 重建家园!
우리 모두 손잡고 함께 힘내자!!
Stand together stand strong for Miyagi!
Muita garra e muita forza !Estamos juntos Miyagi !!

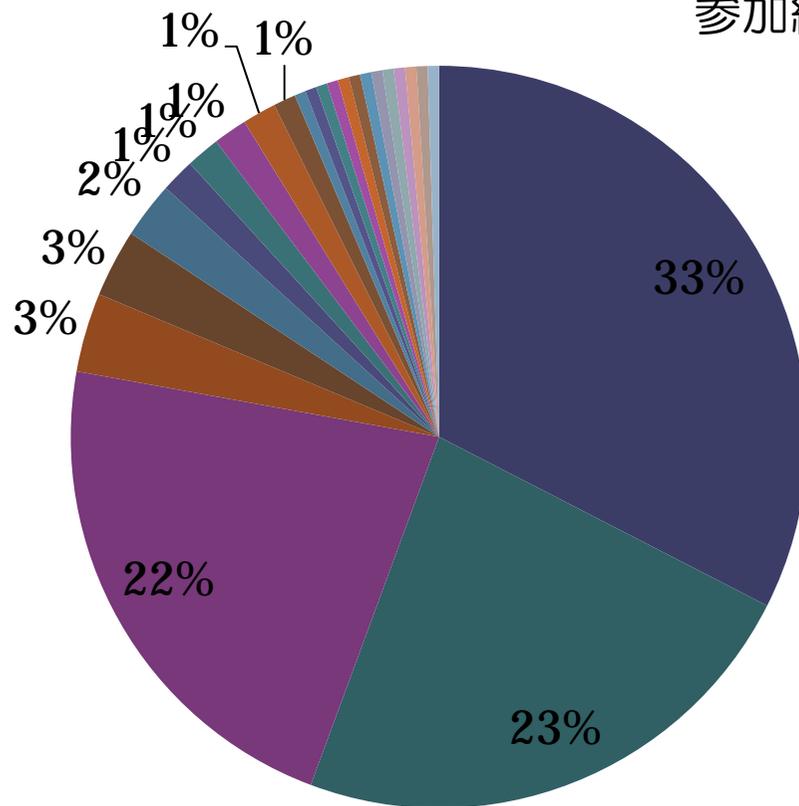


『東日本大震災をふりかえる会』

参加者国籍割合

参加総数 203名（24か国・地域）

- 中国
- フィリピン
- 韓国
- ブラジル
- ベトナム
- タイ
- アメリカ
- イギリス
- 台湾
- ペルー
- インドネシア
- インド
- オーストラリア
- ガーナ
- カザフスタン
- スウェーデン
- チリ



	国籍	人数
1	中国	66
2	フィリピン	47
3	韓国	45
4	ブラジル	7
5	ベトナム	6
6	タイ	5
7	アメリカ	3
8	イギリス	3
9	台湾	3
10	ペルー	3
11	インドネシア	2
12	インド	1
13	オーストラリア	1
14	ガーナ	1
15	カザフスタン	1
16	スウェーデン	1
17	チリ	1
18	トルコ	1
19	ナイジェリア	1
20	フィンランド	1
21	フランス	1
22	ボリビア	1
23	モロッコ	1
24	モンゴル	1
	計	203

仙台エリア編※兼ニューカマー生活適応支援事業



実施日時：平成23年5月17日（火）
12:30～14:30

実施会場：宮城県仙台合同庁舎会議室
参集範囲：仙台（一部利府）

参加外国人：16か国37名（中国15、
韓国5、ベトナム4、タイ・カザフスタ
ン・トルコ・ブラジル・スウェーデン・
フィンランド・ガーナ・ナイジェリア・
インド・アメリカ・イギリス・モンゴル・
モロッコ各1名）

専門家応援団：宮城県警通訳センター5
名、弁護士3名、行政書士3名、臨床心理
士1名、精神科医1名、日本語講師3名、
宮城県国際経済・交流課1名

仙南エリア編

協力団体：国際交流協会ともだちin名取、日本語講座いわぬま
アイビー、国際交流協会わたり、山元町国際交流協会



実施日時：平成23年6月6日（月）
10：30～12：30

実施会場：サッポロビール仙台工場会議室

参集範囲：名取、岩沼、亘理、山元、
角田、川崎

参加外国人：5か国28名（韓国14、
中国8、ブラジル3名、フィリピン2名、
タイ1名）

専門家応援団：宮城県警通訳センター2
名、弁護士1名、行政書士3名、臨床心理
士2名、臨床心理専攻1名、日本語講師等
26名、名取市役所1名、資生堂12名

仙南エリア編 韓国語グループ①

① 너무 놀라서 움직일 수가 없었습니다
한시간 정도 마당에 주저앉아 있었습
한국어가족에게 연락할 방법이
없어서 제일 고통스러웠습니다

② 지금도 마음이 안정이 되지 않음.

③ 많은 사람들이 물이 쓸려서 너무
까슬이 아팠습거나 쭉-브가 있으면
빨리 구조가 됐을 것 같았는데
마음이 안타가왔다
多々の人々が水に溺れて心かいたがたです。
クーラーがあたり早く救助されたの
心か痛ましく思いました。

④ 영화에서나 본수있었던
헤일에 온통 것이 떠내려가는 ^현
우산을 힘없는 모습을 보고
너무 충격적인 놀라웠다
映画などで見たことが出来たつなみは3メートル
知らず知らずうちに、たて見出しに出来た
tsunami 津波を見ておれにも衝撃的だ感かいたがた。

11월
D.H. 2013
とても驚いて、動くことができませんでした。一時間くらい庭に座り込んで
いました。韓国の家族に連絡する方法がなくてとても辛かったです。

不安だったこと

① とても驚いて、動くことができませんでした。一時間くらい庭に座り込んで
いました。韓国の家族に連絡する方法がなくてとても辛かったです。

② いまだに心が安定してない。

③ 多くの人が溺れていて心が痛かったです。浮輪があったら早く救助でき
たのにも思いました。

④ 映画で見たことのようなだった。津波ですべての物がながされてしまい、た
だ見ているしかできないことが情けなかった。その光景があまりにも衝撃的
でびっくりした。

① 자신이 끌고 7주일 안에
地震後 7週間以内に電気も水道もつかえるようになって
と感謝した。津波も
= 皆とつなみか 津波もつかえるようになって
= 皆とつなみか 津波もつかえるようになって
다섯은 つなみが 되지 않길
주님께 기원 합니다.

② 집 근처 사람들하고 음식을 나누어
먹고 서로가 안부도 물어보고
없는게 있으면 같이 주고 받고
했습니다 나무를 벌어서 밭도 같이
지어 밭었습니다

③ 모든 사람이 질서정연히
힘을 합쳐서 도움은 주고받고
하는 모습에 감동을 받았다
皆が規則正しく力を合わせて助け合う姿に感動しました。

④ 각위 사람들을 돌아 볼수
있었 던것이 좋았습니다.
皆の人の姿を振り返ることが
出来たことがよかったです。

うれしかったこと

① 地震後7週間以内に電気も水道も使えるようになってとてもうれし
かったです。に度と津波がこないように祈ります。

② 隣近所の人たちと食べ物を分けて食べたり、お互い助け合いなが
過ごしました。みんな一緒に薪をくべて、ご飯を作りました。

③ 皆さんが規則正しく、力を合わせて助け合う姿に感動しました。

④ 普段気に掛けない周りの人々を気にかけるようになったこと。

仙南エリア編 韓国語グループ②

① 처음으로 큰지진을 만나 너무 커서웠던 지금까지도 느낌이 계속 머릿속이 맴맴하고 있다. 그리고 가장 비켜간 것은 전기와 가스였음.

初めての大きい地震だったので本当に怖かったし、今だにノローゼで頭の中に残っています。そして一番大変だったのは電気と水道でした。

② 도로 道路.
집 기와 家の瓦
기름 기름

③ 지진이 오면날 운전중 너무 위험하고 내자신이 무엇이 무엇인지 모르는 상태에서 혼란만 남음

④ 집에 돌아오니 지붕이 많이 망가지고 모든 물건이 무너지고 볼도 안들어오고 볼도 안날고 밤에는 동태가 캄캄 피번에서 1층으로 지붕.

⑤ 자동차 기름도 약 9시간 줄로서서 밤과 볼도 반에서 먹고 슈퍼에서도 줄로 많이 서서 기다리고 있었음. 너무 많은 것이 한꺼번에 일어난게 변하는 바빠감.

⑥ 정신적으로 많이 힘들고 나중에는 몸도 지쳤음.

⑦ 도로도 군데 군데 무너지고 꼭 전쟁터 같았음.

⑧ 선감의 몸도 마워서 병원에 입원하고 시흥은 온도 너무 너무 힘들었음.

① 칸틴이 가 마와라는데 ~~가~~ たらがた 一番

② ①でんきが、入ってこなかったのだから、
→ どのどののうしの水をよあいうがさ
パケスで はこんで ぶちたつ。

③ ①でんきが、入ってこなかったのだから、
→ どのどののうしの水をよあいうがさ
パケスで はこんで ぶちたつ。

④ ①でんきが、入ってこなかったのだから、
→ どのどののうしの水をよあいうがさ
パケスで はこんで ぶちたつ。

⑤ ①でんきが、入ってこなかったのだから、
→ どのどののうしの水をよあいうがさ
パケスで はこんで ぶちたつ。

⑥ ①でんきが、入ってこなかったのだから、
→ どのどののうしの水をよあいうがさ
パケスで はこんで ぶちたつ。

⑦ ①でんきが、入ってこなかったのだから、
→ どのどののうしの水をよあいうがさ
パケスで はこんで ぶちたつ。

⑧ ①でんきが、入ってこなかったのだから、
→ どのどののうしの水をよあいうがさ
パケスで はこんで ぶちたつ。

不安だったこと

① 初めての大きい地震だったので本当に怖かったし、今だにノローゼで頭の中に残っています。そして一番大変だったのは電気と水道でした。

② 道路、家の瓦、ガソリン

③ 地震の時は、互理にある子供の皮膚科の病院で薬をもらっていました。地震中も子供は車で寝ていたのびっくりした。地震が終わるまで車の中で待った。とても怖かった。車の運転中も、危険だったがすぐ脱出できるように子供をおんぶしながら運転した。それから10日間ほど水道や電気が使えず不便で寒くて大変だったが、家族が皆無事に一緒にいられたので感謝!

④ 運転中だったので、怖かったし何もわからなくて涙が出た。家に帰ったら、屋根が壊れて全てのものが倒れていた。電気も水道もなく夜は真っ暗だったこと。週間避難所で過ごした。ガソリンスタンドに9時間、スーパーでもずっと並んで買ってもらった。あまりにも多くのことが一瞬で変わってしまい、精神的に疲れて、後から体も疲れてきた。道路もあちこちで壊れ、まるで戦場だった。主人の体調が悪く、入院していたので看病も大変

⑤ 電気、ガソリン、道路

① ① 公民館でTVを見たが、津波で全てを失った人々を見ながら、私たちは幸せな方だと思いが過ぎました。

② ② ひどい地震だったので日本の国民が落ち着いて、秩序を守りながら、いつも優しく案内しながら親切に迎えてくれて本当にありがたかった。隣の日本人の方がたまに食べ物をくれて、水もくれたりして何かあったら連絡するように声をかけてくれたので本当にありがたかったです。

③ ③ 今回は、主人のありがたさと頼もしさを感じた。いつも間違えて買ってきた物を恥ずかしくて交換に行けない人でしたが、家族のために何回も行ったり来たりしながら、公民館に並んでおにぎりをもらったり、自転車にのって遠いところまで行って水をくんでくれました。やっぱり大変な状況で家族が一番だと思っても感謝しています。

④ ④ 公民館でTVを見たが、津波で全てを失った人々を見ながら、私たちは幸せな方だと思いが過ぎました。

⑤ ⑤ 公民館でTVを見たが、津波で全てを失った人々を見ながら、私たちは幸せな方だと思いが過ぎました。

パチコギの主人が 5日間 パチコギさんに 行くにも 行けなかったのだから、5日間 一緒に ぼんぼん たべて一緒に 時間を すごしたので、さあし くらがたが しあわせ 私にとって は 5日間でした。

うれしかったこと

① 公民館でテレビを見たが、津波で全てを失った人々を見ながら、私たちは幸せな方だと思いが過ぎました。

② ひどい地震だったので日本の国民が落ち着いて、秩序を守りながら、いつも優しく案内しながら親切に迎えてくれて本当にありがたかった。隣の日本人の方がたまに食べ物をくれて、水もくれたりして何かあったら連絡するように声をかけてくれたので本当にありがたかったです。

③ 今回は、主人のありがたさと頼もしさを感じた。いつも間違えて買ってきた物を恥ずかしくて交換に行けない人でしたが、家族のために何回も行ったり来たりしながら、公民館に並んでおにぎりをもらったり、自転車にのって遠いところまで行って水をくんでくれました。やっぱり大変な状況で家族が一番だと思っても感謝しています。

仙南エリア編 中国語グループ

困ったことは、地震発生に伴い「スピーカーが壊れた」
 なる。外の情報やニュースなど「取る」
 ことができない。
 ② 自動車流がされたので、交通が不便
 になりました。
 2011/6/6

夫死、家ない、夫の姉、兄、
 おたしをいじめまくれた、
 ① 不安な心情
 要到何时、
 福島の問題。

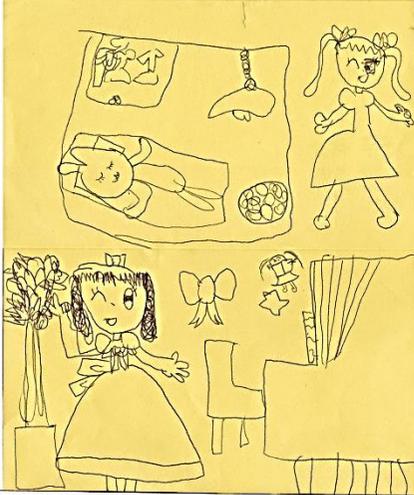
② 3月11日の大震災奪走了我今
 生最親最爱的老公。心里真的
 太痛了。难过极了。真的是用语言
 无法形容。工厂，房子全没了。
 我现在最希望能早日重建工厂。

不安だったこと
 ① 不安な気持ちがいつまで続くのか、福島の問題。
 ② 3月11日の大震災で最愛の夫を奪われてしまいました。本当につらく、
 言葉には表せない思いをしています。工場と家もすべて失いました。早く工
 場を再建したいというのが今の一番の希望です。

うれしかった事は、日本の全国各地から来
 頂いたの
 ボランティアの方の気持はうれしかったです。

① 人与人之间有一种
 无形的力量，能让
 人们对未来充满
 希望。

③ 生活有保障、年金。



うれしかったこと
 ① 人と人の中には、無形の力があり未来への希望に満ちていると感じた
 ② 今回の地震では、こんなに心ある方がおり、更には世界各国の方
 から心配していただき、温かい気持ちになりました。一生忘れられないこ
 とであり、最も幸せで嬉しいことでした。
 ③ 補償があって、年金がもらえること

3月11日の大震災以来、知らない人の距離がずいぶん
 感じます。日本の方の支援物資をいただけてとてもあり
 がたいと思っております。地元の後援や、^{お母様の手紙}重宝が
 とても早く、手紙が来いと思っております。
 一番嬉しいことは長月の間に仮設住宅に入ることができ
 ました。
 ^_^ 2011/6/6

② 经过这一大灾难后，有这么
 多好心人，乃至全世界各国
 人民的关心，心里感到很温
 暖。这是我一生难忘的事，也
 是我一生最幸福、最高兴的事。



気仙沼エリア編

協力団体：気仙沼市小さな国際大使館、はまろう会、
バヤニハン国際友の会



実施日時：平成23年6月9日（木）
13：00～15：00

実施会場：気仙沼駅前コミュニティセン
ター

参集範囲：気仙沼（一部大船渡含む）

参加外国人：6か国33名（フィリピン2
0名、中国7名、韓国3名、台湾・アメリ
カ・チリ各1名）

専門家応援団：宮城県警通訳センター3
名、弁護士1名、行政書士2名、臨床心理
専攻1名、日本語講師13名、気仙沼市役
所1名、資生堂8名

気仙沼エリア編 タガログ語グループ①

① TSUNAMI IS A BIG TRAUMA IN MY LIFE!
WE LOST EVERYTHING OUR HOUSE OUR JOB + ETC.

② de ko inaasahan sa buhay ko ng my dumating na malakas na lindol. di ko akalain ng aron naya na mabubuhay kami at ng ating mga family. naka kalungkot ang ng yaring (ting) ito dahil nawala po ~~ang~~ kami ng trabaho. at isa pa maraming kamag-kamag-anak na nawalan ng bahay. at namatay.

③ Akala ko katapusan na ng mundo nung ng earthquake, after ng tsunami punto kami sa kesenume. di ako nakapani wala. parang sa tv. ko big naipapanood pero hindi sa toto na ito nakatalung kot yung mga nakita ko. nawala ang mga baby. kahit walang nangyari sa family ko sa ibang tao. pag narinig ko - ito ang pinakamalungkot ang mga family na

④ Nawala ang bahay namin at namatay Asawa ko at byeron ko.

⑤ LINDOL & TSUNAMI *
NAWALAN KAMI NG TRABAHO, AOG ASAWA KO AOG TRABAHO SA DAGAT. AOG MGA KAIBIGAN NA NANGA-SARETA. NAMATAY DAHIL SA TSUNAMI. NABAWASAN AOG MGA KASAYAHAN.

⑥ kakalungkot dahil ang mga dating nasa patigil nu ang biglang nawala, at ang mga dati mong routine ay nabago. naranasan ko ang bagay na hindi ko naranasan sa buong buhay ko.

⑦ When the tsunami comes all electricity shout down no more water - samui minna jun bi shiran sono tragedy - kailwa mo amari nihongo deking nani-nani no koto wakanai- faher doko no anshin bashoo nigeuu ka na?

不安だったこと

- ① 津波がトラウマになった。仕事、家すべて失った。
- ② 自分の人生のなかでこんなに大きな地震が来るとは思わなかった。家族と私は死んだと思った。とても悲しい出来事だった。仕事がなくなった。たくさんの親戚がなくなった。家も流された。
- ③ この世が終わると思った。津波が終わってから気仙沼に行ってみたら、テレビよりひどかった。家がなくなっていた。自分の家族は無事だったが、他の人の家族のことが悲しかった。
- ④ 家が流された。主人と義理の父/母がなくなった。
- ⑤ 地震と津波。仕事なくなった。夫は海の仕事、友達が流されて死んだ。楽しい事が少なくなった。
- ⑥ とても悲しい。気仙沼全体がなくなった。生活のサイクルが変わった。
- ⑦ 津波が来て、電気と水がとまった。みんな災害に備えていなかった。日本語がわからなくてどこに逃げたらいいのか分からなかった。

①② More good thing that i really appreciate is the government of Japan is trying to give something relief to us!

③④ (KAZOKU HA BUSI) LAHAT KAMI AY BUHAY NG PAMILYA. MAY BAHAY, KABIGAN NG C.M. BUSHI, MASAYA AKO DAHIL KAHIT WALANG TRABAHO MAY MGA KAIBIGAN NA LAGI NA TUMUTULOG. AT AOG - PAPA SAYA. (TULAD NI MALOU)

⑤⑥ But now its all back to normal life minna nihongin - NIPPON NO KUNIE MO GAMBATERU KOREKARA-ZUTTO NI HON TSUYUI KUNIE KARA - SHINSITEMASU NI HON NO CHIKARA SHINSITEMASU!!

⑦ Ang walang pag-asawang tulong ng mga tao sa nangangailang ng tulong. sa pagbibigay ng oras, at panonon.

⑧ Masaya ako dahil, ngayon ko nakita ang awasang tulongan at pakikipag-kapwa. nasaya rin ako dahil ligtas ang family ko dito sa Japan. gaman din masaya ako dahil nawala ang pag-alala ng family ko sa Philippines. dahil ligtas kami nga nang dati hindi nu kilala nakilala nu ang pagkatas nya.

うれしかったこと

- ① 日本の政府が支援してくれたことがとてもよかったです。
- ② 今は普通にもどった。日本の国も頑張っている。これからずっと日本が強い国になると信じています。
- ③ 家族が無事。物資がもらえて、仮設にはいれて嬉しい。仕事なくてもとても楽しいです。助けてくれる友だちがいるので、私を楽しませてくれる。
- ④ ボランティアの人がずっと助けてくれた。ボランティアの人が時間を割いてくれたこと。
- ⑤ 人の付き合いがあるので楽しいです。家族が無事でよかったです。フィリピンの家族は、私が無事で安心しているのでよかったです。今まであまり知らない人でもとてもやさしいということがわかった。

気仙沼エリア編 タガログ語グループ②

<p>①³⁴ Nawalala ung bahay namin mahirap makasama sa kahit sa kamag-anak mo makakabit hindi kagano makatolog sagabi ang tagal na nagkaron ng tubig. Nahirapan sa pagligo. 3 months bago nagkatubig</p>	<p>② Hindi makatulog gabi gabi dahil takot lagu sa lindol ③</p>
<p>最幸 幸甚 場所が分らなかつた</p>	<p>会社が流されて、避難場所がわからなかつた。 水道、電気、インターネットが止まりとても困った。</p>

<p>③④ Sa loob ng ilan buwan na walang tubig ngayon nagkaroon natin Happy samach lahat ng kaibigan ko nagkikita rin kami, kahit nasa malayo... im sa Very Happy</p>	<p>子どもたちと電気がつかない時にとても「ホッ」。</p>
<p>ボランティアの方々にとても親切にして頂きました。 他県からの支援物資にとっても助かりました。</p>	<p>ボランティアの人が1番やさしかった 市の人達は役に立たない</p>

不安だったこと

① 家が流された。親戚と一緒に住んでいる事がとてもつらい。よく眠れません。それがとてもストレスです。水がなかなか来なくてお風呂に入れなかつたこと、3か月後にやっと水がきた。

② 地震のことで毎日眠れない。

うれしかったこと

① 水がなかったが今は水がきてうれしい。ともだちと再会できてとてもうれしい。

気仙沼エリア編 タガログ語グループ③

~~URESHI~~ KANASHI KOTO =
 ① TSUNAMI NO TOKI ABUNAKATTA DESU.
 津波の時 危なかつたです。
 ② KANASHI KOTO WA, JISAN KITA TOKI, TSUNAMI
 ② KITA TOKI, TUTE MO KUWAKATTA DESU!
 悲しいことは地震来た時 津波
 来た時 とても怖かつたです!

主人の国から帰還命令状出て行か
 なければならなかつた時に、子供達
 が2つの国籍を揃っている事を憂い
 だ事です。親としてはとても苦しい
 状況でした。

不安だったこと
 ① 津波の時危なかつたです。
 ② 地震と津波が来た時はとても怖かつたです。

URESHI KOTO
 ① IKITETE YOKATTA DESU. MINNA
 KAZOKU BUJI DE YOKATTA DESU.
 うれしいこと
 生きて良かったです。みんな
 家族 無事で良かったです。
 ② URESHI KATTA KOTO... KAZOKU DE MINNA
 BUJI DE YOKATTA DESU!
 うれしかつたこと 家族 みんな
 無事で良かったです!

主人の国で皆人から親切にして
 頂き、世界の絆を感じられた事が
 とても嬉しかつたです。

うれしかつたこと
 ① 生きていて良かったです。みんな家族が無事でよかつたです。
 ② 家族みんな無事でよかつたです!

気仙沼エリア編

タガログ語・英語グループ

① 3/11 ② Nasa Shinkansen po ako ng nag aruh guake. Doon ko na nararamasan (Bakit ngayon na nalago ako sa Familya ko) / night din ako sa evacuation Center & after ward's family na ako sa Chiba kin, after 9 days ko nakasama ang family ko. Doon ko nararan claran ang tabat, na kanyang ngayon.

ang usang gimakasyang ko ay ang lindol na sa tolong buhay ko ay nang ko long nararamasan at ako ay nasa trabaho at ang ama ko at asawa ay hindi ko alam kung ano ang komilong kalagayang at ng oras na magamang ang lindol ay ako ay nasa trabaho at ako ay tabat na tabat.

③ ④ ⑤

⑥ 2011 March 11 the biggest earthquake with H. tsunami, the time that I can't forget until I live in this world...
March 11 ~ 12 me & my family was sleep inside the car... it's so hard for us as we are 5 families... I can't don't want to see inside my house, I don't want to see all around of my place...

⑦ ang unang giung-na ayaw ko ay ang malakas na giung at ang tubig na tumatak ang nakakata kot. kot.

⑧

① ④ Ang kanyang kong nararaman-lahat na. Pili-piho-dito sa kasama. Nagkita-kita, at nag kai sa nag tutulongan. at nag bibigayon, nag kasundo

② ⑤ Ang masaya kung nararaman ay ng makita ko ang asawa at ama ko na ligtas namam-ita at lahat ng baibigam.

③ But ^② when my happiest moment from that tragic happenings is when all my family was together again, & were all safe... then during all the Filipinos here in Keessurman was get together, talking of our experience and distributing relief goods... nagkainain faming lahat... ang magkanyay ay nag balati... sama sam faming burabargon. For the sake of our kids.

④ Ang pinakasayang naganap after lindol at tsunami ay nagkita-kita kami ng mga anak ko. Sa awa po nang diyes ay nabuti po ang ating mga anak.

⑤ ⑥

⑤ ⑥ ang pinakamasaya kung na kasa ma ko ang familya ko sa oras na lindol - na dumating na yan.

不安だったこと

① 地震が起きた時、新幹線の中にいて家族と離れているときに地震が起きたこと、地震から今まで恐怖を感じている

② 地震の時は車に乗っていて、石が落ちてきた。道路が壊れ、みんな泣いていた。壊れた家も見た。

③ 初めて大きな地震を体験しました。その時仕事をしていた、子どもと主人がどうしているのか不安だった。とても怖かった。

④ 地震の時は仕事をしていた、一緒に働いている人が地震だと騒いで自分も怖くなった。

⑤ 巨大な地震と津波がおこり、人生で忘れられない経験になった。2日間車で家族と過ごしました。ぐちゃぐちゃの家の中をもう見たくない

⑥ 地震はとても嫌いです。水が上がったことが怖かった。

うれしかったこと

① 気仙沼でフィリピン人同士が一つになったことほどもうれしいです。お互いに助け合った。

② 主人と子ども、友達が無事でうれしかった。

③ 人生の中でこの経験は、子どものためにフィリピン人同士が互いに辛抱し、喧嘩した人とも仲良くなって、みんなで立ちあがったことがとても楽しかった。

④ 地震の後、子どもたちと会えて嬉しかった。神のおかげで子どもたちが助かった。

⑤ 災害の時、家族と一緒にうれしかった。

気仙沼エリア編 中国語グループ

<p>① 这次地震，津波给人们带来了很大的不幸。就像我的家来说吧，在海上养殖的机械、船、木架等之各种东西全部被津波冲走了。什么时候回来，需要很长一段时期吧！我们还有孩子还要上学，需要找交学费。然后我们家房子还属于沉没的那一类。现实确实不知道该怎么办了。</p>	<p>② 这次地震、海啸带来的不幸让我很伤心。让这美丽的城市变成难以相信的局面。让我相识的失去家园，失去亲人非常痛心。我每天都在祈祷，我喜欢的仙台喜欢的日本以最快最安全回到原来的样子。我们一定能走出伤心，让我们一起来努力吧，建设美好的家园。</p>
<p>③ 东日本大地震时房屋没有损坏，因为没水，没电，给生活带来了很大的不便。最不方便的就是厕所不能用，电话打不通，让人难过了好一段时间，因为下落不明。</p>	<p>④ 这次海啸把家轿车所有的一切都冲走了。海啸带来的冲击，心灵上的压力，精神上的压力非常的大。将来如何生存……</p>
<p>⑤ 日本大震災 佐藤秀華</p> <p>这次海啸给每个人带来了很大的困难，但我们一定要坚强，日本是一个很强大的国家，相信今后的生活还能回到从前。</p> <p>中国の家族、連絡が取れないこと</p>	

不安だったこと

- ① 今回の地震・津波は人々に大変な不幸をもたらした。例えば私の家では、海上養殖の機械、船など生計を立てるための道具をすべて流された。いつ復旧できるでしょうか、長い時間がかかるでしょうか！収入がないのに、子どもたちを学校に行かせるために学費がかかる。自宅は減免判定を受けたし、本当にどうすれば良いかわかりません！！
- ② 大地震・津波がもたらした不幸で心を痛めています。この美しい街を信じられないほどの废墟に変えた。知り合いが家と家族を失い、非常に心が痛いです。私は毎日、大好きな気仙沼、大好きな日本が一刻も早く復旧できるよう祈っています。みんなで一緒に悲しみから脱出して、復興に向けて頑張ります！
- ③ 東日本大震災で自宅は無事でした。断水や停電で生活が大変不便でした。最も不便なのはトイレを使えないことでした。電話も通じないので、実家の親族にしばらく心配をかけてしまいました。
- ④ 今回の津波で家、船、車、すべて流されました。精神的なストレスが非常に大きい。これからどうやっていくのか……
- ⑤ 今回の津波は人々に大変な不便や困難をもたらした。でも、私たちは強くならなければいけない。日本は強い国、今後はきっと以前のように戻れると信じます。

<p>① 大地震、海啸发生后，最让我终生难忘的来自异国陌生人和不同肤色、不同肤色人的关心和问候。由那些无私奉献、任劳任怨的志愿者，还有自驱人员，是他们关心和问候，给了我留下来决心和勇气，团结一致，齐心协力重建家园……</p>	<p>② 震后，看到人们不屈不挠，为了重建自己的家园拼命而努力和奋斗的精神，很感动。志愿者们给予的帮助，真的，他们很大的一部分要从新开始，为了恢复，真的很不容易。我也会贡献一份力量。我在这生活八年了，热爱这块土地，热爱我们在日本的家，让我们一起努力吧！！</p>
<p>③ 通过这次大地震，让我知道我们日本是多么的坚强。从外国来的志愿者，他们不怕累不怕苦来支援我们，让我非常感动。大家互相鼓励，互相支持，忘掉过去，面对未来。</p>	<p>④ 日本大震災 经过了这次海啸，让我感到了人间的温暖。在异国他乡的我，感觉外很深，海啸以后，我感受到了大家的帮助。在这么大的困难时，每个人都能互相帮助，我很感动。让我感到最深的是日本人很坚强。</p>
<p>⑤ 在这次震灾中，学到了很多。日常生活中的勤俭节约，互相帮助。很感谢各国给予的帮助。</p> <p>これはじめの住人生活、夢もみえなかつた。近の人と、ボランティアさんたちのあたたかい心を感じました。</p>	<p>感謝通訳のコーナー。皆様は私の愛を深めていただき、心から感謝いたします。加藤誠史先生から、お礼のお手紙、救済物資、そしてお見舞いまでいただき、本当に感謝で、心から感謝いたします。思えば、微々ながらも、自分の心の支えのため、日々がんばり続けてきた。近の人と、ボランティアさんたちのあたたかい心を感じました。救済物資、お見舞い、心温かい思いに、心から感謝しています。</p>

うれしかったこと

- ① 大地震・津波が発生した後、周りにいるまったく知らない、国籍、肌の色が違う人々が温かく気にかけてくれる事が一生忘れられない。特に毎日忙しく働いてくれるボランティアや自衛隊のみなさん。彼らの働く姿が私に勇気と決心をくれました。みんなと団結し、復興に向けて頑張ろうと思います。
- ② 震災後、人々が地震に負けないで、復興するために必死に頑張る姿を見て、大変感銘を受けています。ボランティアの皆さんが助けてくれて、本当に素晴らしいです。全ては一人からのスタートになります。気仙沼の美しい姿を復興するために、私たちも自分の力を使って貢献したいです。私はこの土地で8年ほど生活してきた、この地を愛している、日本での家を持っている、みんなで一緒に頑張っていきたいです！
- ③ 今回の大地震で日本人の強さが良く分かりました。全国からボランティアたちが駆けつけて、辛さや疲れに耐え、我々を支援してくれた。みんなで励ましあい、支えあい、辛い過去を忘れ、将来に向けて頑張ります！
- ④ 今回の津波で人間の温かさを実感しました。異国で生活している私には特に深く感じられました。津波の後、たくさんの方が助けてくれました。こんなに大きな災難の時、人々が付け合う姿を見て、日本人の強さに感激しました。
- ⑤ 今回の震災でたくさんのお話を学びました。日常生活の中での節約、助け合いなど、各国からの援助に感謝しています。

気仙沼エリア編 英・中・韓・西混合グループ

① 初め地震を体験したとき、本当に怖かった。夫と連絡が取れず、その焦りやいら立ち(真暗な状況で時間が進まない)で眠気も感じないし、食することもできず、二度と体験したくない経験でした。地震で痩せたように思います。

② 家には 노인 그분과 초등학교, 중학교에 다니는 아이 2명이 있는데 가장 큰 걱정은 사수와 위생에 관련된 문제였습니다. 다만 저희집은 전기가 모든것을 해전화하여 정전이 되졌을때는 스토브도 없었기 때문에 추위에 맞는衣裳 하였습니다. ~~하지만 여기 가장 큰 걱정은~~

③ Perdi mi casa 自家庭壊れました。

- Perdi todos mis viejes
- Que va a pasar con nosotros (famil)
- estoy muy confundida. 何事も困惑しています。

④ Students' parents, siblings, houses, businesses gone

- Relatives' houses gone Aunt died
- (No email > No contact > No Cell phone)
- (No Internet > No contact > No Cell phone)
- Stores Not open Limit on items - 3, 5, 10
- Limit on time < 5 min. 10 min.
- Roads blocked / No gasoline

⑤ 仕事(歯医者)について
機器坏了.

不安だったこと
① 初めに地震を体験したとき、本当に怖かった。夫と連絡が取れず、その焦りやいら立ち(真暗な状況で時間が進まない)で眠気も感じないし、食することもできず、二度と体験したくない経験でした。地震で痩せたように思います。
② 家には老人2人と小学校、中学校に通う子ども2人がいるために、一番の心配は飲み水と衛生に関連する問題でした。また、私の家では電気で全てをまかなっていて、停電になったときはストーブも無かったため、とても寒くてたいへんな思いをしました。
③ 家を失い、全てを失った。とても困惑しています。これから私たち家族はどうすればいいのでしょうか？
④ 生徒たちの親、兄弟、家、仕事が失われたこと。近所の家なくなり、お年寄りが亡くなったこと。E-mail, インターネット、電話連絡の手段がなくなったこと。お店が開いていなかったり、買い物の時間や品数が限られていたこと。道路が壊れ、ガソリンがなかったこと
⑤ 仕事(歯医者)の機械が壊れた。

① 새로운 구제하기 때문에 주에는 아는 사람도 별로 없는 가운데 가장 큰 고민인데 저급까지 간단한 인사 정도만 나누었던 이웃들이 한 마음으로 돕쳐 없는 사람과 사수를 나누어 구제할때의 따뜻한 인간미에 감동하였습니다.

② 남편이 무사히 집에 돌아왔을때는 지진도 컸지만 걱정할것도 무섭지 않고 그때부터는 평온해졌습니다. 저번달에는 전기도 들어오고 감사한 마음으로 지내고 있습니다.

③ 이震災のおかげで友人が会いに来てくれ、全てが前のように戻ってきました。

④ . Después de la tragedia vinieron mis amigos a verme y me consolaron, todo va estar bien. 震災の時に知人が来てくれた友人のおかげで前のように戻ってきました。

- mis amigos en el momento mas difícil estuvieron a mi lado.
- gracias a mis amigos yo estoy saliendo a delante. 友人のおかげで前に歩き出すことができました。

⑤ Support and concern from Tokyo Friends.

- Contact Lens Solution (Cleaner?)
- Water from Uncle and Neighbors
- Jiitai Quick arrival - water food > search.
- City Hall Quick Response - Disaster Centers Support - food Blanket Help.
- Fire Dept. Quick Response - water, shelter, search.
- Students safe and alive
- US family and friends - Google People Search.

救援物資を頂き、
周囲・家族の手助けを受け、
女医した。

うれしかったこと
① 新しくできた住宅街だったため、周囲に知り合いがあまりいなかった。地震で不安ななか、今まで簡単な挨拶程度しか交わしたことのない、近所の人たちが心をひとつにして不足する食糧と水を分け合いました。そうした暖かい心に感動しました。
② 夫が無事に家に戻った時は、ほんとうにほっとしました。地震も真っ暗だったことも怖くなくて、その時から平穏になりました。先月には電気も戻ってありがたい気持ちです。
③ この震災があり、友人が会いに来てくれて、全てがうまくいくように慰めてくれた。わたしよりも友達の方が大変なのに、私のそばにいてくれた。友人のおかげで前に進むことができました。
④ 東京の友だちが気づかい、助けてくれたこと。コンタクトレンズの洗浄液をもらったこと。おじさんや近所の人から水をもらったこと。自衛隊が迅速にやってきたこと。市役所、消防署の対応の素早さ生徒の無事。アメリカの家族、友達Google People Searchで探してくれた。

南三陸・登米編

協力団体：登米市国際交流協会、登米日本語講座、
登米日本語講座家族会



実施日時：平成23年6月14日（火）
13:00~15:00

実施会場：ホテルニューグランヴィア

参集範囲：南三陸、登米、美里、大崎、栗原、気仙沼、一関（岩手県）

参加外国人：5か国28名（中国17名、
韓国6名、フィリピン3名、インドネシア
1名、イギリス1名）

専門家応援団：宮城県警通訳センター2
名、弁護士1名、行政書士2名、臨床心理
専攻1名、日本語講師4名、家族会3名、
資生堂5名

南三陸・登米編 タガログ語グループ

① What makes me feel sad is that we lost every thing that we have.
 ② I'm alive but I feel sad for those people I know who died in the Tsunami.
 ③ I feel quite insecured because our town is 90% paralyzed and there are many people who lost their jobs, which

④ Making contact with family and friends in England. ⑤
 2. When water and electricity would return pregnant and her family
 3. Was my sister-in-law OK in Shizugawa.

④ 4. Did I have enough nappies and milk for my 11month old son?
 5. Enough petrol?
 6. Worried about food deliveries for my husband's pigs.

④ Selama Parangnya gempa Bumi Yang Dirasakan ;
 • Gerakan Yang Tidak Berhenti Serasa mengalar Dari Arak Laut sampai gunung gunung.
 • Yang ada Panik, Bingung, Trauma Ceri Keterangan untuk keluarga dan tempat yang tenang dari kecacauan.

① ① I feel glad to be able to meet so many people who are generous enough to help us. It makes me feel, too, that we are not alone and that there are people who really care.

② ②
 1. Speaking to my family to tell them all was OK.
 2. My sister-in-law and family OK in Shizugawa.
 3. Be prepared for earthquakes
 4. food for pigs. 5. Nappies + milk from Tome-shi.

③ I feel lucky to be alive.

こぼれたこと
 1. 赤ちゃん - ちさい こども か いのり のり
 くらい ところ か 12月2日 から 22日
 ねえ か ほか ほか 23日 のり 24日 25日
 たいてい 26日

2. GASOLINE - ガソリン か たかいし、おとほ、たかい
 ばらばら 27日

3. 11ヶ月 の 4に から ねんご と ほか ほか 28日
 から 29日 しんぱい 29日。

不安だったこと

① 持っているものすべてなくなったことが悲しいです。生きていますが、津波で犠牲になった知り合いのことを考えると悲しくなります。町は90%機能していない状態です。多くの方が仕事を失ったので、元の生活に戻しにくい状況にあります。不安です。

② イギリスの家族と友達に連絡が取れるかどうか、水道と電気はいつ戻ってくるのか、志津川の妊娠している義理の姉と家族は無事なのかなどが心配でした。

③ 11ヶ月の息子のおむつ、ガソリンは足りているのか、夫の豚のえさが配達されているのかなどが心配でした。

④ 揺れはおさまらず、海から山へ遠い広がつた(と感じた)。パニックを起こし、混乱し、心に傷(トラウマ)を負った。冷静になって、家族のために混乱から離れた安全な場所を探した。

うれしかったこと

① 私たちを支援してくれる多くの方々に会えてうれしいです。私たちも一人じゃない。生きていてよかったです。

② 家族に無事だと報告できたこと。志津川に住んでいる義理の姉と家族は無事だった。地震への準備ができたこと。豚のえさがあったこと。登米市からのおむつと牛乳をもらったこと。

南三陸・登米編 韓国語グループ

① 지진때문에 너무 무서워서요.
모든게 불편하고 마음이 아파요

② 먹을것이 없어서 슈퍼 가도
사람들이 줄을 많이 서 있어서 힘들겁니다.
노년들은 불안하게 보였습니다

③ 전기가 들어 오지 않아 우산과 옷을 꺼내
하니 몇개짜로 돌아온 기분

④ 어려운 것은 우연이었는데
복사. 밖에 기다렸습니다.

⑤ 비상시 ^복분이 없으면 어쩌나 걱정이 많았
다. ^복분이 없어 답답했다
처음이라 정말로 들었던 지진은
경이 ^복 신기하기도 하고
무서웠어

① 어리운수를 한여름 함께 해서
많은 도움이 되었습니다

② 필수품을 ^복활용하여 ^복살았음이라
그리고 전기 물 가족모두
머치지 않아서 ^복살았음이라

③ 전기가 들어오니 제일 기뻐다

④ 전기 수도 왔을때 제일 기뻐다

⑤ 겪어보지 못했던 경험은 한것 같다
인생에 도움을 준다고 생각한다
가족들과 가깝게 모여 얘기를
나눌수 있어 좋았다

⑥ 어려운 상황에
모두가 단결심을 보여서
배운점이 있다면 생각했습니다

不安だったこと

① 地震が起こった時、とても怖かったです。すべてが不便で心が痛いです。
② 食べ物が無くて買いに行っても、長い行列で大変だった。老人たちがかわいそうに見えました。
③ 電気がつかず怖くてろうそくの火をともしましたが、昔に戻ったような気分。
④ 大変だったことは、怖くてどうしたらいいのか分からず外で待った。
⑤ 非常時、水、明かりが無ければどうしたらいいのか不安になった。明かりが無くて不安だった。初めてのことで、話では聞いていたが、地震を経験し、不思議でもあり、怖かった。

うれしかったこと

① (状況が)大変になるほど力を合わせ、たくさん助け合った。
② 必需品を買うことができて良かった。それから電気、水、家族全員がケガをしなくて良かった。
③ 電気がついて一番うれしかった。
④ 電気、水道が戻った時、とてもうれしかった。
⑤ 味わったことのない経験をしたように思う。人生に役立つと思う。家族が集まり話をするのが良かった。
⑥ 大変な状況にみんなが団結心を見せて、学ぶ点がありました。

南三陸・登米編 中国語グループ①

① 地震发生时 没有 通讯信息 中断, 海啸来时不能及时躲避。

③ 地震当日没有感到可怕, 听到 海岸边生活的人遭到海啸的袭击, 大量的老人, 大人孩子被水冲走, 感到非常的痛心。还有 福岛的 核电站附近的居民的生活不能得到及时的解决, 很为他们担心。

⑤ 我想 放射线更可怕, 希望 国家快解除。

⑦ 我想 非常可怕, 从此不在发生。

② 放射线让我中国的 亲人和朋友非常担心, 我在日本的生活, 使我感到对他们的抱歉。

④ 2011年 3月11日 東日本大地震发生后, 我个人心里非常空虚, 在想, 这次地震太可怕了, 南三陸方面死伤很多人, 非常可怜。

⑥ 3月11日 東日本大地震 心里很震惊, 损失很大, 在大地震完了 慢慢恢复生活。

① 3月11日地震过后, 我家附近的人马上就 把老人和小孩全后集在集会所, 大家把家里吃的东西拿到集会所, 一起做吃着, 让我感受到了日本人的 团队精神, 象亲人一样温暖, 让我更加喜欢日本的生活。

③ 我在想, 让日本国家更加 强壮, 经济早日回復, 要失业的人早日回復工作。

⑤ 日本人 忍耐性 更强, 值得学习。

② 从现在开始, 如果地震再发生了, 我们就要 加倍注意, 感谢日本朋友 的关心和扶持。

④ 我很幸运 发生地震时, 在家 休病假, 感谢中国大使馆来接中国公民。

⑥ 日本社会各界为灾区老百姓所做的各种活动, 让我很感动, 让我对日本的社会更加信任, 更加欣赏 日本人的坚强的意志, 更加坚定在日本生活下去的决心。

⑦ 3月11日 日本 東日本大地震 全世界人民 支援 非常感谢。

不安だったこと
① 地震発生時は連絡をとれず、津波がやってきた時は早めに逃げるができなかった。
② 放射能のことで、中国にいる親族が私の日本での生活を大変心配しています。親族に対しては申し訳なく思っています。
③ 地震当日は怖く感じなかったが、沿岸部でたくさんのお年寄り、大人、子どもが津波に流された事聞き、心が非常に痛みました。また、福島第一原発付近の住民たちの生活がなかなか元通りにならないことが大変心配です。
④ 2011年3月11日東日本大地震発生後、私自身個人的にとても虚しく感じています。今回の地震はとても怖い、南三陸ではたくさんの方が亡くなり、怪我をしました。
⑤ 放射能はもっと怖いと思います。国に早く原発問題を解決して欲しい。
⑥ 3月11日東日本大地震後、ショックを受けました。物の損失も大きかった。早く元の生活に戻りたいです。
⑦ とても怖いです。二度とこのような災害がないように祈ります。

うれしかったこと
① 3月11日地震直後、自宅付近の人々はすぐ年寄り子どもを集会所に集めました。食べ物を持ち合って、一緒に調理して食べました。日本人の団結精神と家族のような温かさを実感しました。私はもっと日本の生活が好きになりました。
② もしまた地震が来たら、気をつけなければと思います。日本人の友人の優しさに感謝しています。
③ 日本という国がもっと強くなくて欲しい。日本経済が一日も早く復興し、失業した人々が早く就業できるようになって欲しい。
④ 幸運なことに地震発生の時、私は自宅で病休中だった。中国大使館が中国国民を迎えてくれて、感謝しています。
⑤ 日本人は忍耐強いです。見習うべき。
⑥ 日本の社会や各業界が、被災地の人々のためにいろんな活動してくれたことに大変感謝しています。これまでよりも、もっと日本の社会を信じていることができるようになりました。日本人の意志の強さは素晴らしい。これからも日本で生活していこうと決心しました。
⑦ 3月11日東日本大地震後、全世界の人々からの支援に感謝いたします。

南三陸・登米編 中国語グループ②

① 電話打不通

② 当地震发生时, 最担心的是
亲人联系不上。~~不安~~还有
情报。

③ 地震以后很还怕想快点
回国。和中国的亲人团聚。

④ 大地震之后最让我感到害怕的事情就是
没有任何情报, 这种心理上的恐惧真的
非常的可怕。

ライフラインがとってしま
物資の買い手ができなくて大変だった。
子供の引っ越しがのびて来た。
実家の人に心配をかけてしまった。

不安だったこと
① 電話が繋がらない。
② 地震発生当時、家族と連絡を取れないことが一番心配だった。それから、情報不足だったことも心配だった。
③ 地震後はとても怖くて、早く帰国して、中国の親族と会いたいです。
④ 大地震後、最も怖く感じたのは情報がまったくなくてでした。このような精神的な恐怖は本当に恐ろしいと思います。

① 5月15日回中国和家人团聚

② 3月11日地震发生时, 我在中
国, 当地震发生后, 日本人的稳
定, 不乱, 好的秩序, 和给中国
人留下了很好的印象, 促进了日中友好

③ 高兴的是日本还有自己的孩
子, ~~和~~爱人在困难的还境
下一起努力的生活。

④ 地震的当时, 我正在国际交流协会7階
的会议室开研修会。
当警报拉响后, 交流协会的工作人员有的
的疏导, 让我感到非常的敬佩, 也使我感
到十分的安全。
在这里衷心的向你们表示感谢!

③ ^{アガ} 鬼子に、初穂料をもらって、焼肉を
焼こうと思った。
*

うれしかったこと
① 5月15日、中国で家族と团聚することができました
② 3月11日地震発生当時、私は中国にいた。地震後、日本人たちの落ち着き、混乱せず、秩序を守る姿は中国人に大変深い印象を残しました。日中友好に良い影響を与えた。
③ 日本で困難な環境においても、自分の子どもと夫と一緒に頑張って生活できることに嬉しく思います。
④ 大地震の時、私は国際交流協会7階の研修室にいて、研修会の真最中だった。警報鳴った後、交流協会の職員たちが慌てずに誘導してくれた。大変感服すると共にとても安心しました。職員に感謝の意を伝えたいです。

みやぎ外国籍県民大学OG編



「みやぎ外国籍県民大学」とは？

震災の前年の2010年に宮城県国際交流協会が実施した定住外国人を対象とした社会参画支援プログラム。県内9市町村に暮らす9ヶ国31名が参加。

実施日時：平成23年6月17日（金）
11：00～13：00

実施会場：エル・パーク仙台
5F創作アトリエ

参集範囲：みやぎ外国籍県民大学卒業生
（仙台市青葉区・泉区・太白区・宮城野区・若林区・石巻、東松島、山元、南三陸）

参加外国人：8か国24名（韓国9名、中国8名、フィリピン2名、アメリカ・台湾・フランス・ブラジル・オーストラリア各1名）

専門家応援団：宮城県警通訳センター2名、弁護士1名、行政書士2名、臨床心理専攻1名、資生堂7名

みやぎ外国籍県民大OG編

不安だったこと

なにもできなかった、無力さを感じて、悲しかったです。

沿岸部津波被害の映像を見るたび、かなくなります

よくテレビや新聞紙で見える場面が
早稲大学の器縁の身おわりでおきたのは
おそろしいです。~~不安な状況~~
皆様が体と心を一体になって頑張ってください。

水がなく、トイレを流せ
ないことが大変でした。

^災
震災でラインが失い、情報もない
中で、大変不安な気持ちがいっぱい
でした。

10日間、お風呂に入れなかったこと
が、とてもつらかったです。

たこせんどう人がなくなる
こと、かたしいし寂しい
です。

友人の兄弟や親感がなくなった
ので、悲しかったです。

大変なこと

- ・情報がなかなか手に入らなかったこと
(テレビがなかったため...)
- ・自分の行動しないと情報が入らなくて
実感した。

家を流された親せきの事が心配
で具合が悪くなりました。

24時間は娘と連絡がとれなかった...

普段の生活がととず、食事やお風呂
ない、我慢が続いたこと。

- ・被災した友人により
そう以外、何もできず、
つらかった。

みやぎ外国籍県民大OG編

嬉しかったこと

災害時、みんなお互いに助け合って乗り越えるような事に感動されました。

- ・ 仕事を通して、新しい出会いがあり、いろいろな人達と話げできたこと。
- ・ 普段どおりの生活が幸せだと感じる事ができたこと。
- ・ 沢山の方に助けられました。

おたのしみ

- ・ 避難所で、少しかつ分けあふ仲間(心、食べ物)を見知らぬ人同士でも、助けあふたことがありました。

子どもたちとの交流で成長した事、また友達との交流が、心が豊かになりました。

震災を通じ、人の絆が深まり、皆の力を合せて、困難を克服できるような頑張りをみかけます。

県外の友達がいろいろな物を送ってくれた。

東日本大震災をのりこえて、皆様の元気な顔を見てうれしです。

海岸に住んでいる友達が、無事の確認ができた瞬間...

震災で家族の絆と人の絆が深まったことに感動しました。

- ・ 普段よりも、近所の人や家族、職場の人達とコミュニケーションが増えたこと。
- ・ たくさんの人がお茶を淹れて連絡をくれたこと。

石巻の友達を会えてうれしかったです。

- ・ 地震の当時、研修会の最中でしたが、大泉さんの指示と案内を受けながら行動したので、とても助かりました。
- ・ 地震で家族の絆を深く感じました。
- ・ 地震で近隣とのふれあいが増えました。
- ・ 地震で、日本社会の恩を深く感じました。
- ・ 地震で私は成長しました。.....

石巻エリア編

協力団体：国際サークル友好21



実施日時：平成23年6月23日（木）

13:00～15:00

実施会場：こ～ぷのお家いしのまき
地域交流サロン

参集範囲：石巻、東松島、涌谷、女川

参加外国人：11か国53名（フィリピン
20名、中国11名、韓国8名、ペルー3
名、タイ3名、ベトナム2名、ブラジル2
名、台湾・ボリビア・インドネシア・イギ
リス各1名）

専門家応援団：宮城県警通訳センター3
名、弁護士1名、行政書士1名、臨床心理
専攻1名、日本語講師8名、石巻市役所1
名、資生堂6名

石巻エリア編 タイ・タガログ語グループ

① 高橋 リサト
 ちいさい子どもが泣いて、かわいが
 ておじさんが わるかったの
 びょういんが なかなか
 (open) おかないので、
 LAはいひした

② 被災して、避難所
 被災してから、避難所を2か所を経て、現在借家
 で家族とくらしています。被災当時を思い出すのもつらいです。
 正しい情報で、子供と自分がどう生き延びるのか一杯でした。
 災害弱者という言葉が、まさに私達のことです。
 子供が体調を崩して、おじいさんおばあさんおじいさん
 学校はどうなるかと心配でした。

③ 1) WE LOSE OUR HOUSE
 0 WE HAVT NO JOE
 0 WE LOSE OUR CAR
 BUT IM SO SAD BECAUSE THE NEWS
 IS NOT REALLY CLEAR OF ALL, THAT
 LOT OF PEOPLE WAS DIED.

④ 1. TSUNAMI KITTA ATO NI BAKI NA
 KAZAI, WO MIMASHITA, KOMOCHI
 2. KOMAI TATEMO MAYUNATTE
 3. DOKO NI NIGIRU BA HINDAROU,
 YAKE WAKARANAI.

⑤ FROM (THAI) Thailand.
 ① 3/11 地震が起きた瞬間、
 ② 避難所生活を過ごして、
 ③ 避難所生活を過ごして、
 ④ 避難所生活を過ごして、

⑥ FORM THILAND NAME KITSARA NAGANUMA
 ① 地震が起きた瞬間、
 ② 避難所生活を過ごして、
 ③ 避難所生活を過ごして、
 ④ 避難所生活を過ごして、

① 家族のみんながー
 みんな幸せになって
 いっぱいよかったです..

② BUT ANYWAY : INSPITE OF ALL
 TRIALS:
 IM SO HAPPY THAT
 WERE ALL ALIVE... .

③ 見ず知らずの人から、はげましいの手紙を
 いたが、何回も読んで一人じゃ
 ない、だから、見守ってくれてるを知り、
 とても勇気もらいました。

④ From
 (THAI) Thailand. ① 4/3
 ② 避難所生活を過ごして、
 ③ 避難所生活を過ごして、
 ④ 避難所生活を過ごして、

⑤ NAME NAGANUMA KITSARA
 ① 地震が起きた瞬間、
 ② 避難所生活を過ごして、
 ③ 避難所生活を過ごして、
 ④ 避難所生活を過ごして、

⑥ 本村 ツエヲ ① 4/3
 MASAYA AKO DAHIL WALANG
 NANGUARING MASAMA SA FAMILYA
 KO.

不安だったこと

① 小さい子どもとおじいさんがいて、具合が悪かったのですが、病院がなかなか空かなかったこと

② 家、車が流された。仕事がない。ニュースですべてが明らかにならなかったの(沢山の人が死んだこと)、悲しかった。

③ 被災してから、避難所を2か所回って、現在借家で家族と暮らしています。被災当時を思い出すのもつらいです。正しい情報で、子どもと自分が生き延びるのが一杯でした。災害弱者というのは、まさに私たちのことです。子どもが体調を崩しても満足に診療を受けることができませんでした。学校はどうなるかと心配でした。

④ がきた後に、大きな火災が流れているのを見ました。とても怖くなりました。どこに逃げたらいいのか訳がわからなくなりました。

⑤ 1) 3月11日の地震が大変恐ろしかったです。
 2) 自宅にいられず、避難所の生活を送って、大変困難でした。
 3) 息子のことなんです、転校することになり、友達もおらず大変かわうでした。
 4) 転居しなくてはならず、物資も足りない、電気もなかったんです。
 ⑥ 今回の地震が、言葉に出来ないくらい大きな悲劇だと思います。最初にやったのはコミュニケーションだったんですが、電話で通じられなくて、コミュニケーションを失って、永遠に離れるような感じをしまいました。震災を目撃してから、眠れなくなって、将来に何が起きるか心配をしまいました。

うれしかったこと

① 近所の友だちがみんな一つになって一番良かったです。

② この難しい状況だったにもかかわらず、みんな生きてよかったです。

③ 見ず知らずの人から励ましの手紙を何度も読み返し、一人じゃない誰かが見守ってくれている事を知ってとても勇気もらいました。

④ いつもそばにいるタイ人の友達は皆無事でした。家族、母親、息子も無事でした。

⑤ 皆から無事で連絡してもらって、嬉しかったです。少し復せそうなのですが、皆元気でした。日本の政府、特に、日本の自衛隊に大変深くお礼を申し上げます。

⑥ 私は家族が無事でうれしかったです。

石巻エリア編 スペイン語ほかグループ

① (PHILIPPINES)
 nang parakho na famakto kami, hindiako
 makakontrol sa amon ko, wala ng signal ang
 cellphone. pumunta kami sa school, walang
 food at tubig. walang gatar ng baby.
 Sabang Laming

③ Kogoku to Tansodadi do tawari
 rinaku to usakute, totunse
 shiunpai shite kurucashita
 Sono ato sono tabunoyasu
 nado Okute kurucashita
 O Saasan ashom itta kara
 sode ni uattara shogayatte
 kurucashita fute kurucashita
 shunpai shite usashita

⑥ Lo más difícil para mí el día 11 de
 marzo fue, no encontrarme con mi familia
 1 semana, pensé q todos se habían desa-
 parecido y lo peor q desapareció todo
 mi casa y mi carro. Nos quedamos sin
 nada.

⑦ O MAIS DIFÍCIL FOI FICAR 2
 dias - Sem NOTÍCIAS dos meus
 Filhos. 2日間わかれがたかった。
 e sem Poder voltar para
 casa estava muito
 sauge trabalhando em
 Onagwa 約4時間仕事

② FIRST, 最初の、最初の
 INISIP KO KAERAD, MY SON 6
 and Daughter, My family here
 in Japan. And i pray...
 I want to Come back
 to Philippines...

④ to days no food, cold my
 baby's said morning we a co
 hangup, and so very cold.
 no blanket, no water no food.

⑥ Lo mas difícil que Paso es el día 11
 de MARZO, pe el no poder comunicarme
 con la gente que estaba al mi Rededor
 ya que eran solo Japoneses, y yo pedía
 ayuda en mi idioma, Local entre
 en panico ya q fui asustada por el
 Asusto me agarré a maderitas q flotaban
 y pude salvarme, gracias a Dios.
 Ana Bueno 約4時間仕事

うれしかったこと

- 地震の時は、家の駐車場に走って行きました。雷が降っていたので、寒い中泣いていました。どうすればいいのかわからなかった。そしてたまたま通りかかった中国人の方々が、ジャケットと毛布をくれました。やさしい方たちでした。食べ物とおむつをとり家に戻った後、学校に向かいました。日本人の方も私たちを助けてくれた。食べ物とお水ももらいました。私の心を強くしてくれた。旦那さんがいなかったから。
- その時は私のことを助けてくれた方がカトリック教会の神父さんでした。一週間ほど協会で避難しました。
- 避難所で優しい女性に会い、子供たちはジャンパーとひざかけとシャツを貸してもらいました。家族みんなで一緒にいました。
- 友だちとあって、仲良くなれたいつもそばにいて大丈夫って言ってくれる。
- 良かったことは、私の家族全員と再会できたことです。息子達も夫も皆元気です。前進しようと思います。
- 良かったことは、避難所で衣類と食べ物ももらえたことです。日本人連との共同生活を体験し、団結が強まりました。
- 一番良かったことは、石巻に戻れて、3人の息子に会えたことです。旦那には五日後に会えました。

① Nang tumakto kami sa labas ng mga anak ko,
 pumunta kami sa parking lot ng school ng malapit
 sa bahay namin. ang labas ng yuli ng parking
 ay, tabat na tabat ako at nangyayak dahil
 hindi ko alam tung saan kami pupunta, huli
 nalang may chinar na nagbigay sa mga anak
 ko ng blanket at jacket nito, nagpak ako fone
 ang bait nito. nang bumalik ako saglit sa
 bahay para humingi ng diaper at baby powder
 ng anak at pagpapunta na kami sa school nang

③ Hicawo de Japachi togi
 ni atla Watashiro Kodomo
 tachi Janaka, Josa Kato
 to shite o Kurucashita
 Kogoku nainua shom
 usashita.

⑥ Lo bueno q' ubo para mi, es q' toda mi
 familia nos Reencontramos de nuevo
 y todos con Salud mis hijos y mi esposo.
 y seguiremos adelante.

⑦ A melhor coisa Foi quando
 Voltei PARA ISHINOMAKI;
 e encontrar meus 3 filhos
 Bem e depois de 5 dias
 o meu esposo - 約4時間仕事

② 教会(韓国) and, (Haga usa)
 Ang Tawag 6
 sa family nung tumung
 (Sa) The Church of Cathohe
 Shimpsona, Almost 1 week
 kaming ina dag sa Kotoi,

④ there's a lot of friends to
 help and always there
 to be comfort

⑥ Ana bueno
 Lo Bueno que Paso es que encontre
 un Refugio en Inai donde me
 dieron Vestimenta y Alimentos. AHI
 Experimente la convivencia entre los 3 po
 meses y la solidaridad
 約4時間仕事

うれしかったこと

- 地震の時は、家の駐車場に走って行きました。雷が降っていたので、寒い中泣いていました。どうすればいいのかわからなかった。そしてたまたま通りかかった中国人の方々が、ジャケットと毛布をくれました。やさしい方たちでした。食べ物とおむつをとり家に戻った後、学校に向かいました。日本人の方も私たちを助けてくれた。食べ物とお水ももらいました。私の心を強くしてくれた。旦那さんがいなかったから。
- その時は私のことを助けてくれた方がカトリック教会の神父さんでした。一週間ほど協会で避難しました。
- 避難所で優しい女性に会い、子供たちはジャンパーとひざかけとシャツを貸してもらいました。家族みんなで一緒にいました。
- 友だちとあって、仲良くなれたいつもそばにいて大丈夫って言ってくれる。
- 良かったことは、私の家族全員と再会できたことです。息子達も夫も皆元気です。前進しようと思います。
- 良かったことは、避難所で衣類と食べ物ももらえたことです。日本人連との共同生活を体験し、団結が強まりました。
- 一番良かったことは、石巻に戻れて、3人の息子に会えたことです。旦那には五日後に会えました。

石巻エリア編 英語グループ

① Jirug mo teki suwai deu saqimeti
mita deui, sonotoki sungu xi gitle.
yama ite. tsunami mitenai dakom
waharai deui. sando utadi wa
rakumatta.

② TSUNAMI 9 EARTHQUAKE - NI KOWA KAITA
TSUNAMI NINAK KATA-DE
ATE KARA - SUMOTURONA KAITANDE.
IMANWA HINANJU NI IMASHITA -
L WATANABA SHOBUKI -

③ I WANT TO GO BACK TO MY HOMETOWN
TOGETHER WITH 2 DAUGHTERS
BECAUSE OF THE TSUNAMI I FEARED BY ALMOST
EVERYDAY WE SO SCARED

④ I'm SCARED WHEN I SEE THE
EARTHQUAKE, BECAUSE, THIS IS
THE FIRST TIME THAT I EXPERIENCE
THE GREAT EARTHQUAKE IN JAPAN.
NOW MY PROBLEM IS MONEY.
TO SUPPORT MY EVERYDAY LIFE.

⑤ I'm scared about tsunami,
how to run with my 3 kids, and
to relaxed them because there so
scared of earthquake.

⑥ 6/23
I'm run-away going into the mountain because
I'm afraid we at the time we don't have
any water and gas electric I
I'm really scared
I'm helping other person

① because I want to be able to talk all of my
friends, specially all my teachers.
this is my first time to meeting all my
friends, so I feel so good And Relax
And become happy
I'm really worried all my friends
specially (my) all my Teachers. Dory!!
God Bless JAPAN end.

② YOKATTA KOTOGA - KASURIGA MINNA DAJIBU
NANDE, OISHII KOTOGA SHINUSAI DE, KEDONDO
IROSHI, ATO TOMODACHI NO IMASU -

③ TSUNAMI 9 EARTHQUAKE KUNAI DESU NEN. ITO NO NAKA
TATEMONO, SORU TIKO KUWARIMASU. WATASHI
TACHI GA TASHKATA DESU NEH! YUKATTA TO MO I
IMASE!!!

④ I'm glad because my family is
safe now, and we start a new
life. after there so bad memory
because of earthquake. God Bless
us.

⑤ mina Okechi katta kaizuko
yukatta deui. somo an gatto
kamidama.

不安だったこと
① 地震の時とても怖かったです。初めての体験でした。すぐに山に逃げ、津波は見えていません。泣きました。
② 津波と地震が怖かった。住む所がなかったので、今は避難所にいます。
③ 二人の娘を連れて故郷に戻りたいです。津波と地震で毎日とても怖い
④ 子どもを3人抱えて津波からどう逃げるかとても怖かった。
⑤ 日本での初めての強い地震体験でした。毎日生活していくお金に困っています。
⑥ 山に向かって逃げました。水もガスも電気もなくとても怖かったです。他の人たちと助け合いました。

うれしかったこと
① 友人や先生と話したいと思っていました。この振りかえる会で震災後初めて友人と会うことができました。とても嬉しく、ハッピーになりました。友人、特に先生のことを心配していました。
② 家族がみんな大丈夫だったこと。震災で、子供も友だちも一緒にいれ
③ 津波と地震で家の中や建物が壊れたのに、私たちが助かったこと。
④ とても怖い思いをしましたが、今は家族が無事で新しい生活を始めたのでうれしいです。
⑤ みんなうれしかった。家族良かったです。神様、どうもありがとうございます。

石巻エリア編 英語・ほかグループ

① Isha natta toki wa sungaku ki wakatta nara no onaji to onemasu kedo. Domo sono toki wa gakkō no jikan desu kara dakara kodomo wa kanton shimpai desu shita. kanton gako niwa shishi ikutai desu kedo kodomo wa nakai ni ititai shuga dōmo onyaku wa dekirai desu kara. nani mo dekiru kute naku shika dekirata. dokoro jisen urawata sunga ni gakkō ni ukira shita. kadomo wa daizenbu datta. to god.

② bad unbelivable disaster of enoridible earthquake and tsunami, ist time in my life. all our things everything are gone.

③ This is my first experience to see the big tidal wave and strong earthquake.

④ my first experience is to see a tsunami

⑤ It was about of "Tsunami" in so afraid, because of my wife. they are so afraid. Tsunami is earth quake... where only 3 family in japan... that's the bad experience.

⑥ When my friend died in tsunami. We evacuated at the Ishinomaki (FR) Fire Department

⑦ mas a kaysya ako naong da time nagabala ako anak ko.

⑧ kundi kami masjid do nakatulong ke natatakot ako ke kaming dalawa lang ng anak ko. nang time nuyon. after a days nagsiyang dalungan ang mga friends and relatives

不安だったこと
① 地震のとき、とても怖かったです。その時間が学校の時間なので子どもがとても心配でした。本当は学校にすぐにも行きたかったのですが、動くことができません。地震がおさまった後、すぐに学校に行きました。
② とても信じられないほどの災害と地震、津波でした。全てがなくなりました。
③ こんな大きな津波と地震を体験したのははじめてだった。
④ 津波を初めて見ました
⑤ 二人の子どもが地震と津波をとても怖がっていたので、私もとても怖かったです。日本で家族3人だけでした。
⑥ 友だちが津波で死んだ時、私たちは石巻消防署で避難しました。
⑦ 地震の時職場において、子供のことが心配でした。
⑧ 地震の時は子供と二人だけだったので、よく眠れませんでした。数日後、友人や親せきが来てくれました。

① Jisen uratta toki wa dasaran to dasaran to ofasan okasan to watashi wa motto nakayaku narimashita. Jisen mada naterai toki no nakayaku nandesu kedo motto motto nakayaku ni narimashita dakara ima kanjita norua watashi wa gaijan demo dasaran no kasoku wa watashi o kanton kasoku onemasu

② Watashiwa ima shiawase. TRK "an" de
yatto watashi no futari kodomo nga chatto. gohan mo tabeteru... etc...
chanto anshin de asondeu...
gako mo futsu de itteru...
kimuchi mo chanto modotte kimashita.
Watashi tachī kuni chigau kedo chikarade mi made gambaremasu...

③ When I saw my family and friends safe

④ I saw my family safe together w/ my friends

⑤ the good s, I have seen when, we in the we are in the evacuation place. is that we like together with many people, and know make many friends new

⑥ ~~Ang pagpapalantok~~ ang pagpapalantok to at save kaming magina. sa ganitong trahidyag

⑦ I saw my family safe

うれしかったこと
① 地震があつて、夫と夫の両親と私はもっと仲が良くなりました。地震以前から仲は良かったのですが、もっとも仲良くなりました。私は外人ですけど、夫と夫の両親は私を本当の家族とってくれています。
② 二人の子どもがちゃんとご飯食べ、安心して遊び、普通に学校に行っていること。気持ちが良くなりました。私たちは国は違いますが、協力してみんな頑張っています。
③ 家族に会えたこと、友人が無事だったこと。
④ 家族と友だちが無事だったこと。
⑤ 避難所でたくさんの人々助け合つて、たくさんの友だちができたこと
⑥ 震災があつても、親子で助かったので、感謝しています。
⑦ 無事に家族に会えたこと

石巻エリア編 韓国語グループ

① 남편이 뭇속에서 죽는 모습을
인상할 때.

② 인주인간 지원목자를 못받아서
못했습니다. (영문에서 구적받은 구적받은)
처음 이다 옆에서 아른아른
다들 했습니다. 산으로
도망가려, 하루 밤을
보내야 했습니다.

③ Sad.
① 전기가 안 들어왔어 저녁에
판레미가 올랐을 때,
그때 눈물이 막 흘러내렸다.

④ 500만 원 (500,000 원) 받으니
"가" 家がなくなったのが
500만 원 (500,000 원) 받으니
"가" 家がなくなったのが

⑤ ① 한국에 있는 애들 보지 못하니 미안
주는 거 하나 정도 생각이 들었으나
② 한참 안 되는 방송이랑. 변방이 되
았을 때.

⑥ ① 연인이 돼 많이 걱정한 한국 가족 신장에
② 부모님 못한 딸 편에 그냥 "죽음"이라는 단
어를 떠올리게
③ 아이(수남) 만났는데도 못만. 편지야 남한
이래 물어. 두친 부부
수직다

123

① 17

② 17

③ 17

④ 17

⑤ 17

⑥ 17

⑦ 17

⑧ 17

⑨ 17

⑩ 17

⑪ 17

⑫ 17

⑬ 17

⑭ 17

⑮ 17

⑯ 17

⑰ 17

⑱ 17

⑲ 17

⑳ 17

㉑ 17

㉒ 17

㉓ 17

㉔ 17

㉕ 17

㉖ 17

㉗ 17

㉘ 17

㉙ 17

㉚ 17

㉛ 17

㉜ 17

㉝ 17

㉞ 17

㉟ 17

㊱ 17

㊲ 17

㊳ 17

㊴ 17

㊵ 17

㊶ 17

㊷ 17

㊸ 17

㊹ 17

㊺ 17

㊻ 17

㊼ 17

㊽ 17

㊾ 17

㊿ 17

happy

① 문 배급 받았을 때

② 전기가 들어 왔을 때

③ 핸드폰이 터졌을 때

④ 남편의 짐장 오하가가
대기대 아쿠아 의류시

⑤ 자원 봉사. 학교. 캐 안에서
목적도 하고. 덕분에

⑥ 3월 26일 판과 만났을 때

⑦ 한국에 있는 딸과. 90만 원 돌려가 되었는데

⑧ 미사는 모든 배급 받았을 때

⑨ 남편과 가족이 무사하다 연락 받았을 때

不安だったこと

① 夫が水の底で死んでいく姿を見たとき

② 一週間、支援物資を受け取ることができず、ご飯を食べることができなかった。(近所におにぎりをもらいにいった。)海の水でアルバイトをしていました。山に逃げこみ、一晩過ごさなければなりません。

③ 電気がつかなくて夕方に娘が泣き出したとき、涙があふれました。

④ 500万円くらいリフォームしてすぐ家がなくなったのがつらい。

⑤ 韓国にいる子どもに会うことができないまま死ぬんだと、まず思いました。韓国語の放送を聞くことができなかったこと。

⑥ 連絡がつかなくて心配している韓国の家族を思い悲しかった。経験したことのないことで、ただ"死ぬ"という単語が浮かんだ時悲しかった。息子(4歳)が食べたいものも食べられず、今の状況を理解できず、駄々をこねた。

⑦ 東日本大地震が起き、夫の安否(消息)を待っていた時。一週間後、夫の遺体を見たとき、火葬した時、日本に韓国の家族がいなくて一人で全てのことをやりとげねばならなかったとき。

うれしかったこと

① 水の配給を受けたとき。電気が戻った時。携帯が通じたとき

② 夫の火葬、お墓ができて嬉しい。

③ 支援物資を受けとり、船の中でお風呂にも入り、おかげさまで...

④ 家族と一緒に集まっていた時。初めてお風呂に入った時。電気と水が出たとき。

⑤ 韓国にいる娘と9日ぶりに通話できたとき。飲み水の配給を受けたとき。夫と家族が無事だと連絡を受けたとき。

⑥ 3月26日に娘と会えた時。

⑦ 韓国にいる家族と連絡が取れ韓国の家族が自分と一緒にそばにいたという話を聞いたとき。たいへんな経験をし、つらいときにたくさんの人たちがやってきて応援してくれた時。避難所で日本人たちが一緒に心配して下さったとき。

石巻エリア編 中国語グループ

<p>① 第一次体験の大地震、非常の害怕、但 是和日本同胞一起避难大家互相关心和更多的朋友的帮助、在不安的余震期间得到3安慰、感谢全国、全世界的朋友给我们的灾区更多的支援和援助。</p>	<p>② 这次大地震及海啸家由半坏、自己经营的店铺已经进水、空调等全坏、东松島市只对住宅有所补偿、店铺任何补偿都没有、从现在可以应该怎么办。</p>
<p>③ 但心福射给我们的的生活带来危害、对生活中的一个细节都觉得很累、所以觉得过的很累。</p>	<p>④ 住むの事と、日常の生活 政府对损坏房子补助 对于孩子、学校的问题</p>
<p>⑤ 但心、的事情现在工作没有今后的生活怎么办、还有福射时 情很担心、 地震がまだ続けて、子供がもっとトラウマになって、どうすればいいか？</p>	<p>⑥ 核福射什么时候后结束啊 住む所がない(地盤状況不安) 再余震の不安 核福射の不安 子供学校の問題が不安</p>

不安だったこと

① 初めてこのように大きな地震を体験し、本当に怖かったのですが、日本の方々と一緒にお互いを支えながら避難をし、また多くの友人の助けにより余震の時にも安心感を得られることができました。全国、また全世界の方々が私たち被災地の人間に多くの支援と助けをくださっていることに感謝

② 今回の地震と津波で家が半壊し、経営している店にも水が入りました。空調など全て破壊されたのですが、東松島市は住宅にのみ手当をくれるのですが、店には何もしてくれないためこれからどうすればいいのでしょうか

③ 放射能が私たちの生活にもたらす被害について心配しています。一つ一つ細かく気をつけなければならず、とても疲れます。

④ 日常生活が不安です。被害を受けた住宅に対する手当や子どもの学校の問題なども心配です。

⑤ 今仕事がないのでこれからの生活が心配です。また、放射能の状況も心配です。

⑥ 放射能の問題はいつ終息するのか？
(日本語)地震がまだ続いているので、子どもがトラウマになってどうすればいいのか。
(日本語)住むところがないこと。余震の不安。放射能の不安。子どもの学校の問題が不安。

<p>① 让我感动的事情很多很多、 自衛隊の人和ボランティア还有料理店の人、给了我们生活上很多的帮助、 真心的感谢他们、 一生也不会忘记。</p>	<p>② 人と人の絆の大切さと 自衛隊の援助、支援物資 日本政府の支援 ボランティアの援助</p>
<p>③ 感谢周围的朋友给予更多的关心、 特别感谢中国大使馆派来的援助。</p>	<p>④ 自衛隊の援助、 ボランティアの援助、 生活上の補助</p>
<p>⑤ 政府の支援 自衛隊の援助 人と人の絆の大切さ、 国がすぐ対応してくれて、自衛隊の人 支援物資、 ボランティア、</p>	<p>⑥ 人の絆(近所との助け、友人の支え) 自衛隊の援助、ボランティアの 生活上の補助 援助 隣居の大切さを感じました。</p>

うれしかったこと

① 今回感動した出来事は本当にたくさんあります。自衛隊の方やボランティア、そして料理店の方々が生活の面でたくさん助けてくださいました。心から感謝しております。一生忘れません。

② 人と人の絆が深まった。自衛隊の援助、支援物資、日本政府の支援、そしてボランティアの助けもありました。

③ 周囲の方々に心配していただき、感謝しております。特に中国大使館が送ってくださった援助に感謝しています。

④ 自衛隊の援助、ボランティアのサポート、そして生活面の手当て。

⑤ 政府の支援と自衛隊の援助。

⑥ 人の絆(近所との助け合い、友人の支え)。自衛隊の援助。ボランティアの援助。生活を支えてくれたこと
(日本語)人と人の絆の大切さ。国がすぐに対応してくれて自衛隊が支援物資を持ってきてくれた。ボランティアの人
(日本語)ご近所さんの大切さを感じました。

お肌のケアは心のケア

大手化粧品メーカーの社員さんによるマッサージ・ボランティアはどの会場でも大好評でした。

ときには、社員さんが参加者から逆にご慰労されたりすることもある...



総括専門家会議

平成23年8月22日(月)13:30～

@宮城県国際交流協会研修室



●出席者

弁護士 長尾 浩行氏（官澤綜合法律事務所）
申請取次行政書士 櫻井 克俊氏
宮城県警 田口 京子氏（通訳センター）
宮城県警 加藤 誠史氏（通訳センター）
臨床心理専攻 一條 玲香氏（山形大学大学院）
石巻地区 清水 孝夫氏（国際サークル友好21アドバイザー）
名取地区 若山 陽子氏（国際交流協会 ともだちin名取事務局長）
資生堂 松田 佳重子氏（資生堂販売株式会社東北支社美容統括部長）
中国語通訳 孫 雪虹氏（MIA外国人支援通訳サポーター）
韓国語通訳 齋藤 慧氏（MIA外国人支援通訳サポーター）
タガログ語通訳 庄司 マリーン氏（MIA外国人支援通訳サポーター）

●オブザーバー

公益財団法人兵庫県国際交流協会

副理事長 西田 裕氏

事業推進部交流課課長補佐 永田 展之氏

特定非営利活動法人チャイルド・ファンド・ジャパン

プログラムグループマネージャー 細井 なな氏

緊急・復興支援事業調整員 西村 梨沙氏

宮城県多文化共生社会推進審議会委員

J・F・モリス氏

宮城県経済商工観光部国際経済・交流課

企画・多文化共生班主幹 岩見 吉三江氏

●事務局

M I A 財団法人宮城県国際交流協会

専務理事兼事務局長 梅原 廣

参事兼企画事業課長 大村 昌枝

企画事業課主任主査 大泉 貴広

企事業課主事 伊藤 友啓

●議事録

孫雪虹氏（中国語通訳）

6回すべての「ふりかえる会」に通訳として参加した。被災者の声を直に聞いて、逆に感動と勇気をもたらした。一個人としてこれから被災者にどのような支援ができるかを考えている。「ふりかえる会」に集まった人々の中には涙を流しながらつらい思いを語る人もいた。しかし、日本人の譲り合い、助け合いの精神、また自衛隊、警察、消防、災害ボランティアといった人々の無私の活動に感動し、最初はつらい涙が感動の涙に変わっていった。これは一生忘れられない。

震災で悲しい思いをしたが、日本に来たことを少しも後悔はしていない。復興に向けてできることをできる限り協力していきたい。

齋藤慧氏（韓国語通訳）

「ふりかえる会」に参加し参加者の話を聞いていて感じたことは、みんな心の中に喋りたいことがたまっていたのだなということ。特に印象的だったのは、日本語がほとんど分からない韓国人の話で、それまで日本での報道や行政からのお知らせなど何一つ理解できずにいた彼女が韓国からの電話で初めて「津波」や「原発」の状況を把握したとのこと。その方の不安がどれほどのものだったかと思った。また、震災後は何が起こるか分からないということで、常に遺言書を持ち歩いている韓国人の話も印象に残った。

本国の家族や知人から再三に渡って帰国をするよう言われたが、地域に根差し家族を持つ配偶者の人たちはほとんど帰国を考えなかった。自分が家族の一員であるということを再認識した人も少なくなかったように思う。しかし、正確な情報を得られず、うまく対応できていないケースが見られたことも事実で、やはり言葉は大切と痛感した。日本で生活するためにいちばん基本になるのが言葉で、MIAをはじめ各地域に日本語講座や個別サポートの仕組みなどはあるが、より一層の充実を希望したい。

庄司マリーン氏（タガログ語通訳）

私も言葉はたいへん大切だと思うが、近所の人々と仲良く、しっかりコミュニケーションを図っていくことも同じぐらい大切なことだと思う。フィリピン人の中には、地域の近所の人々に助けられた人も少なくない。言葉が十分にできなくても、近所の人々に「こっちに逃げて！」などと具体的に分かり易い言葉で声をかけてもらったことで適切な対応ができた。震災のためだけではなく、毎日の生活のためにも日本語をしっかりと勉強し、近所の人々とふれあい、コミュニケーションを重ねることの重要性を強く感じた。フィリピンコミュニティミヤギというゆるやかなネットワーク組織を震災後に立ち上げた。今回の震災で、誰にどうやって安否確認をすればよいのか全く分からず困ったことが教訓になった。気仙沼、南三陸、石巻といったそれぞれのコミュニティのリーダーと連携して、安否確認や情報提供を効率的に行えるようにしたい。

若山陽子氏（仙南エリア編設営協力）

「ふりかえる会」は仙南エリアという地域のくくり方がたいへんよかったと思う。自分の地域だけでなく、近隣の地域でも自分たちと同じように頑張り、また苦しんでいる人がいるということはこの会を通じて知り得たことが非常に大きく、励みになった。ネガティブな話もいろいろと聞こえてはきたが、その一方で、例えば今まで自分の気持ちをだましましやり過ごしてきた外国人のお嫁さんが、震災を機に自分が家族の一員であることを再認識できた、などといった前向きな話も聞くことができた。

清水孝夫氏（石巻編設営協力）

震災直前の段階で（清水さん所属の石巻の日本語講座には）登録している受講生が45名ほどいたが、震災後しばらくしても半数ぐらいしか安否をつかめない状態だった。「ふりかえる会」には（日本語講座の卒業生も含めて）60名以上が集まり、そこで震災後初めて会うことができた人も何人もいてたいへんありがたかった。深刻な状況が終わったわけではないが、これまで多くの方々の支援を受けてきたので、今度は自分が支援をする側に回りたいといった前向きな人も出てきている。

田口京子氏（宮城県警通訳センター）

被災地での外国人の生活が気になっていた。MIAに続いて被災地各所を回って見たが、日本の生活が長い方々が多く避難所や地域のコミュニティにしっかりと溶け込んでいて、問題らしい問題も見えてこなかった。そんな時MIAの「ふりかえる会」の話を聞き、問題点を洗い出し、今後の指針が何かしら得られればと思い、オブザーブ参加した。被災者の話をただ寄り添って聞くぐらいのことしかできなかったが、悲惨な状況下でも周囲の暖かさに触れ日本人との距離が縮まったと感じたという話や日本人⇔外国人という区別なく助けてもらったことに感動したといった話を伺い、生活安全という立場からも地域で孤立していない（ひとりじゃない）という認識を外国人住民がもっているようで、たいへん安心した。また、言葉の問題については「津波警報発令」などと配慮に欠ける情報提供の在り方がやはり問題と感じた。「大きな波がきています、あぶないです」といったやさしい日本語を使うことでもっと伝わりやすくなったのではないか。今後、警察内部でもしっかり検討していきたい。

MIA大村

今回、MIAは県警に随分と助けられた。発災数日後から安否確認のネットワークを構築し、また、3月22日に緊急車両を手配した時もMIAの業務をよくご理解いただき通行証の発給にご協力いただいた。

加藤誠史氏（宮城県警通訳センター）

県警の通訳センターは刑事事件の加害者、被害者もしくは目撃者に外国人がいた場合に取り調べ、尋問の通訳をするところである。通常は事務所勤務のため、とかく視野が狭くなりがちである。

今回「ふりかえる会」に参加したことで、現場の実態を把握することができ、また、南三陸のアメリカさんや気仙沼の熊谷さんなど県警通訳登録者の安否を確認することもできた。もちろん電話でも確認はできていたが、やはり直接会うことで生活状況も含めた話を聞くことができたことは大きかった。また、「ふりかえる会」で得た知見がその後の被災地巡回活動に大きく活かされた。警察というのとにかく一般の方々には敬遠されがちなのだが、そうした了解を以て話すことで警戒心を解きほぐし、話を深く掘り下げることができた。

松田佳重子氏（資生堂東北統括美容部長）

一企業として、化粧品を扱う企業として、発災直後からどのような社会貢献ができるのかを探ってきた。3.11直後はやはり水や食料などが必要とされていたが、女性の活力の源となる化粧品も時期が来ればきっと必要とされるはずと思っていた。案の定、震災2週間後に女川の被災者から化粧がしたいという声が届き、サンプルなどをかき集め支援物資と一緒に被災地に送り込んだ。その後、鏡が見たいという被災者の声が聞こえてきた。女性が1ヶ月も顔を見ることができない状況を想像し、社長に直訴して今回配布したような基礎化粧品のセットを3万セット準備した。

ちょうどそのころにMIAから「ふりかえる会」の話があった。物だけを提供すればよいのかと議論を経て、地元美容部員のみならず本社から延べ360名の社員が被災地に派遣され、被災者に向けてハンドマッサージやフェイスマッサージを行った。研究員、マーケティング担当者、広報部員など様々なセクションの職員だったが被災地の現場で被災者に向き合うことで得るものも大きく、中には涙を流して東京に帰っていく者もいた。

自分の仕事を見直すいい機会になったようだ。「ふりかえる会」に関しては、「自分が外国で暮らしているときに被災したら・・・」という想像をしつつ、臨んだ。実際に日本語が不自由な外国人と接してみても、聴覚障害者への心配りの在り方にも気づかされた。若手の男性社員のたどたどしいマッサージを受けながら、被災し亡くなった夫や息子を思い出したという反響がいくつかわ寄せられた。

MIA大村

今回の「ふりかえる会」において資生堂のマッサージと化粧品のプレゼントが呼び水になったことは間違いない。参加者の一部には「資生堂プログラム」と理解されていたほどである。資生堂の協力がなければ200名を超える参加者を集めることはできなかった。

櫻井克俊氏（行政書士）

今回の東日本大震災と阪神大震災との違いを数点挙げる。阪神大震災の際、入管は個別の対応に追われ、忙殺されたという反省があったのか、今回は発災直後の3月15日には在留期間を一律8月31日まで延長するという決定が迅速になされた。また、発災2、3日目の段階で法務局から被災した太平洋沿岸5県の在留外国人のデータを各国大使館に流したと入管から裏情報として聞いている。これにより各国大使館が自国民避難のためのチャーターバスをいち早く手配できたということらしい。これらの動きで、発災直後の混乱に拍車をかけずに済んだということと言えるかと思う。

「ふりかえる会」においては、「永住者」の在留資格を持つ日本人の配偶者の方々が中心的に集まったせいも、行政書士が活躍する案件は少なかった。しかし、中には「日本人の配偶者等」の在留資格で夫を津波で失ったケース（※在留資格「日本人の配偶者等」はあくまで日本人との婚姻関係にある外国人に付与される在留資格で、1年もしくは3年の在留期限となっている。そのため、日本人の配偶者と離婚・死別した場合、子どもがいるなどの場合を除き在留期間の延長、在留資格の変更などは認められない。）のなどもあるにはあった。これについては入管とも掛け合ったが結果的には在留期間の延長などはやはり認められず、特例的な措置はなかった。「日本人の配偶者等」という在留資格の不安定さが改めて認識させられた。なお、宮城県内においてはコックなど就労系の在留資格を持つ外国人が原発問題の影響で帰国したまま再入国してこない、もしくは宮城県を避けて関東、関西圏に新しい仕事を求めて移住するというケースが多く、問題になっている。

長尾浩行氏（弁護士）

外国人問題に関心がないわけではなく、それなりに勉強もしてきてはいたが、宮城にはあまり外国人がいないという思い込みがあり、結果的にこれまで接点を持たずに来ていた。今回このような形でMIAと知り合い、「ふりかえる会」においてこれだけ多くの外国人がいることを初めて知った。地域になじんでいるということであれば、当然そこには法律問題が発生しているはずである。この間、MIAからの紹介で外国人の案件数件に関わったが、抱えている問題の多くは相続問題で、それも含めて一般的な法律問題なので、通訳を帯同するなど言葉の問題さえクリアできれば難しい問題ではない。今回の震災を機に気軽に弁護士に電話する関係ができたことが、双方にとって大きかったのではないかと思う。

なお、弁護士には2種類のタイプがあることをご了解いただきたい。多数派を占めるのは保守的で自分のフィールドから動かないタイプである。今回MIAと私を繋ぐことになった東京の宮内氏などは自分からフィールドに出ていくアクティブなタイプで少数派である。

MIA大村

そもそも長尾氏とMIAとの連携には次のような経緯があった。東京の弁護士会から今回の被災外国人支援でMIAと連携したいとの申し出があり、それならば今後の具体的な支援を考え、ぜひ在仙の弁護士も帯同してほしいというMIAの希望を伝えたところ、東京の弁護士会の宮内氏と個人的にもつながりがあった長尾氏に白羽の矢が立った。

長尾浩行氏（弁護士）

多数派は弁護士会や弁護士会内の委員会の活動には熱心であり、組織対組織の関係を構築していけば、弁護士会からの協力も容易に引き出せるのではないかと思うし、私もそうした橋渡しに尽力したい。

MIA大村

実際、9月上旬に仙台弁護士会とMIAの打ち合わせが用意された。今後の関係発展に期待したい。

一條玲香氏（山形大学大学院臨床心理専攻）

「ふりかえる会」の開催タイミングが非常に絶妙だった。3～4月は被災直後で興奮状態だったが、5～6月になって例えば仮設住宅に入居するなど前を向いてこれからの生活を考えていかなければならない時期に「ふりかえる会」で話して書いて、自分の考えを整理することができた。ネガティブなことは一人でも繰り返しふりかえることができるのだが、よかったこと、うれしかったことを自分でふりかえる人はなかなかいない。この悲惨な震災の中で「よかったこと」「うれしかったこと」と言われ最初は戸惑っていたが、書き出していくうちに整理され、再認識につながっていた。

また、個人的なつながりでしか分からなかった安否を「ふりかえる会」の現場で支援者も含めて直接確認できたことも意義深かった。それから、震災における様々な体験や思いを子どもとの関係で語っている参加者が多かったことも印象的だった。

■オブザーバーから

西田裕氏（公益財団法人兵庫県国際交流協会）

今日この総括会議での様々な発言を聞き、1995年に起きた阪神大震災との違いを改めて深く知った。今回の震災後、多くの支援団体がインターネット上で情報提供を行っていた。これはこれで有益ではあるが、阪神大震災当時も今も被災地にはビラ、チラシといったアナログ的な媒体が有効ではないかと思う（MIA事務局、深く同意）。それぞれの経験をもとに共同して全国に向けて発信できることもあるかと思うので、連携を深めていければと思う。

細井なな氏（特定非営利活動法人チャイルド・ファンド・ジャパン）

ふだんはフィリピンなど世界の子どもを支援している国際協力団体だが、今回の震災を受けて被災地域の子ども支援を検討、実施している。MIAによれば地域の日本語教室が地域の在住外国人のセーフティネットの機能を果たしているとのことなので、そこを基軸にした支援活動をMIAと連携しながら行っていきたいと考えている。

MIA大村

現在NPO、NGO、民間団体など様々な団体が宮城県において被災外国人の各種支援活動を行っているが、特定の国の人々だけを取り出して支援する在り方が散見され、疑問を感じている。せっかく地域に溶け込んで生活してきた外国籍住民がこの支援活動によって地域の中で浮き上がってしまい、家族や地域間に新たな摩擦が生じないか危惧している。

J・F・モリス氏（宮城県多文化共生社会推進審議会委員）

今回の「ふりかえる会」に県警が加わったことは宮城県の多文化共生社会を推進していく者から見てたいへん大きな意義があったと思う。また、被災地の外国人のセーフティネットとなった地域の日本語教室が今後もボランティア頼みでは立ち行かないのではないかと危惧が強まった。国レベルの議論が必要であろう。今後については外国につながる子どもがたいへん気になる。様々な立場、ケースが考えられるので慎重かつ念入りな支援を希望したい。

「みやぎ外国籍県民大学」受講生の震災体験をまとめて、震災の記憶が風化する前に世に問うことが宮城県のより一層の多文化共生推進に寄与するのではないかと考えている。

役所が私に何をしてくれるか、ではなく
私がこの地域のために何かできるだろうか・・・



2011.4.5

佐々木アメリカさん(フィリピン出身) @ベイサイドアリーナ

～ おわりに ～

あの日 目にした光景を
私たちは 決して忘れることはできないでしょう
そして
あの日 みなさんが残してくれた言葉の数々を
私たちは 決して忘れることなく
これからも 走り続けてゆきます



あの日 共に被災地を走ってくださった関係者の皆様に心からの感謝をこめて。